



譯和蘭文語

前編上

一

ホ 10
714
1



言
味
蘭
大
言

中
多
世
蘭
鞋

大
或
大
主
蘭
鞋

明末加10
第714
卷1

雪齋大庭先生翻譯

初集

譯和蘭文語

片多哲藏之梓

治明
永購
四

明末加10
第714
卷1

譯和蘭文語凡例序

雪齋

語白清者上為天濁者下為地此語實然則清濁混
者新介而天地生焉夫天地之間人獸草木新生
而天地之德初見焉夫久獸之初生也除其蠢然則
與草木無別獸人新其所得出明德於蠢然中而撰
其居處定其衣食自是臥來後秀賢聖新形語為
口語新口語通文字構宮室制器械論仁義立五倫

衣帛食肉亦至與禽獸有別也曰降事曰新善惠得
共千變萬化餐然與人心并行也由是觀之天下此
曰新者蓋天地之大德也故天地間之事欲以古者
御今者抑亦惑矣
皇國曰新德澤及異域於是乎支那和蘭等靈舶來
於崎港通事其口語初喃々然非形語不通也然後
由形語記口語記口語知文字知文字讀夷藉遂至

辯其學流之善惡人智此得共是無他言語者人意
之見證而文字者言語之記號也故方今歐羅巴諸
國新其文字定字法句灑章法以佐文章使之與其
口語無有毫末之差於是先覺者由斯法筆其已知
此理以告之後覺後覺者亦由斯灑讀其論理察其
胸臆而發明其奧又告其後覺其後覺復又愈精
其理而至與造化之妙同致是曰愈降則曰新愈

積而人智之妙可與天地參也故至日新之極度則
召古之聖賢比後之常人亦可莫幾多優劣然則
今制後亦難有異是故先他新物理則其智明於他
而次制人國用曰新學他國乃不能亦與之齡矣故
亦格物究理曰新者

國家之大寶而御夷狄之大本也曰新之道何先不
如讀格起之書讀書何先莫先知文法文灑一明則

衆書之義理聖賢之胸臆瞭然可觀也今茲我

明公閣下新闢西學校令臣等先學和蘭之曰新道

若乃 藩之曰新愈積則我 藩乃

皇國日新之魁而亦威外夷之臨夫也窈惟

閣下此先見或在於茲也乎 小臣志 等不堪恐歡惶

喜之至雖謂微勞不肖豈可取不竭微忠乎因官務
之餘暇譯瓦鸞麻知加施尹太幾斯名和蘭文語凡

例為前後二編以與二三子云爾安政乙卯春三月
望肥國佐嘉侍醫西學教導大庭志雪齋序



皇國曰... 土浦 雪江 關弘 道書



譯和蘭文語凡例

例言

○地球ノ廣大ナル百千ノ國土ヲ載ス。而メ其國
土各各人民アリテ。君臣上下是非得失一定シ。皆
其國ヲ以テ中國ト稱シ。他ヲ外國夷狄トス。是レ
地球中ノ一定理ニメ。誣ユ可ラサル所ノ者ナリ。
故ニ我ハ我國ヲ以テ中國トスレモ。彼ヨリ視レ
ハ外國ナリ。夷狄ナリ。彼ハ其國ヲ貴ンテ中華ト
稱ス。我雖モ我ヨリ視レハ亦タ夷狄ナリ。外國ナ
リ。是亦以テ萬國各各是アリ。不是アリテ。其是ハ

則チ亦タ地球普通ノ一定理ナリ。故ニ地球普通
ノ天理ニ明ナラサレバ。我ハ彼ヲ賤ンテ自ラ貴
フヲ能ハス。彼ハ自ラ貴ンテ我ヲ貴ハサル能ハ
ス。國土ノ貴賤ハ蓋シ天理ノ明不明ニ關ルナリ。
外國ハ皆夷狄ト云ト雖モ。各文字アリ書籍アリ
テ學問ノ道ヲ立テ。天理ヲ究明シテ以テ。其外國
ニ長タラント欲スルヲ猶我夷狄ヲ蔑視スルカ
如クナラン。然ラハ則チ百千ノ彼我一地球上ニ
在テ。各全地球ヲ以テ已レカ有ト為ント欲スル
ヤ必セリ。故ニ

國家ニ忠セシト欲スル者ハ。支那和蘭佛良英吉
利等ノ外夷ヲ擬ハス。其天理ヲ講スルノ深淺ヲ
知り。其伎倆ノ巧拙ヲ察シ。努カシテ之レカ右ニ
出シテラ勉強スベシ。然レモ
皇邦ハ支那ニ親近シテ。之レト交通亦タ最モ早
シ。故ニ其風俗傳染シテ。凡民多クハ舊ヲ貴ヒ新
ヲ賤シシ。獨リ支那ノ書ヲ好シテ其古人ヲ信ス
ルヲ以テ。方今西夷ノ天理ヲ論セルト。器械ノ巧
妙ナルトヲ見聞スレハ。則チ其然ル所以ヲ問ハ
ス。皆奇恠トメ之ヲ却ク。是レ其智ノ及バサルニ

言承前文
非ス。其墨守セル學流ノ然ラシムルナリ。宋ノ朱熹カ大學ノ序ニ。三代ノ隆ナルキ。治上ニ盛ンニ俗下ニ美ナルハ。後世ノ及フ能ハサル所ナリト云リ。天下ノ日ニ新ナル者ハ。天地ノ大徳ナルカ故ニ。後世豈古ニ及ハサルノ理アラシヤ。夫ノ朱熹モ亦タ何ソ之ヲ知ラサラン。此語ハ蓋シ為ニスル所コ有テ言ル者アルベシ。然レモ其語ニ些子ノ瑕疵アルヲ以テ。支那ニ沈醉セルノ甚キ者ハ此語ヲ誤リ認メ。後世ハ絶テ古ニ及フ能ハサル者ト決定シ。同書補傳ノ章ニ。其已ニ知ルノ理

ニ因テ。益之ヲ究メテ以テ。其極ニ至ルヲ求メサル無シ。ト云ル者ハ。何等ノ語タルヲ辨セス。自ラ智巧ノ今ヲ賤シテ。徒ニ冗居野處ノ上古ヲ羨ムニ至ル。思ハサルノ甚キナリ。和蘭佛良等ハ固リ極遠ノ西夷ナレモ。是亦タ地上ノ人類ナレバ。必ス多少ノ智慧アルベシ。若シ智慧アラハ。必ス是非ヲ辨セシ。是非ヲ辨セハ。必ス天理ヲ知ラン。天理ヲ知ラバ。則チ百千ノ夷狄ト優劣ナカルヘケシ。然ラハ則チ支那ノ書ヲ讀ト。和蘭ノ書ヲ讀ト。亦タ當ニ甲乙ナカルヘシ。故ニ二三子若シ彼レ

カ書ヲ讀テ彼レガ伎倆ヲ知リ。

國家征夷ノ萬一ニ報セント欲スルヲアラハ。姑ク賤新ノ僻念ヲ舍テ。先ツ彼レカ文法書ヲ讀ミ。奇恠ノ看ヲ為ス。無ケレバ可ナリ。

○此書ハ和蘭ノ學校本ニメ。獨リ其國ノ語法ノミヲ論スト雖モ。其說ハ則チ萬國人語ノ定理ナリ。故ニ其法ヲ理會シ了テ之ヲ他ニ及ス。片ハ。皇邦及ヒ支那ノ語法モ亦タ之ヲ領解スルヲ得。我中古和歌ノ賢哲紀貫之ノ時ニ至ルマデハ。言語ノ法日ニ新ニ月ニ盛ニメ。頗ル和歌ノ定

法ヲ知レリ。爾後支那ノ僻愈傳深シ。秘傳禁戒行ハル。ニ及ンテ。和歌ノ本道傳ハラズ。降テ俊成卿定家卿ニ至レル時ハ。已ニ法ヲ誤レル者多ク。愈降り愈誤リテ。和歌ノ真面目ヲ知ル者無シ。近世伊勢ノ本居宣長深ク之ヲ憂ヒ。努力勉強シテ千載不傳ソ緒ニ接シ。和歌ノ語法ヲ發明セルヨリ。我言語ノ法更ニ新ニメ。今人初テ古人ト衡行スルヲ得ルニ至レリ。今其彼此ノ論說ニ由テ之ヲ觀レハ。我活辭ノ作用ニハ。方今既往將來等ノ時刻ノ變化動自動ノ別アリテ。形容辭

此書前後編共

ニ陪辭ト譯セモ亦夕。其形容スル實辭ニ從テ轉
ル者是ナリ猶和蘭ノ言辭ト大同小異ナルカ如シ。
 變スルヲ。然メ仔細ニ之ヲ顧レハ。我活辭ノ時刻形容辭ノ
 變等ハ。却テ彼ヨリ勝レル者アリ。故ニ今ヨリ後
 彼レト我ドラ比較シテ。各國語法ノ天然ニ出ル
 一ヲ知リ。日ニ月ニ勉強シテ和歌ノ法ヲ新ニシ。
 其本源ヲ究ムルハ。則チ
 皇邦ノ文章ハ必ス支那諸國ニ勝ラン。夫ノ支那
 モ亦夕古ハ必ス當ニ文ノ定法アルベシト雖モ。
 或ハ秦火ニ由テ其傳ヲ失ヒ。或ハ秘傳ノ法世ニ

行ハレ其發明ヲ傳ヘサル等ニテ。後世ノ文次第
 ニ古ニ及ハス。偶マ俊傑ノ士出テ其法ノ若干ヲ
 發明スレハ。亦夕秘シテ之ヲ人ニ傳ヘス。幸ニ其
 傳ヲ得タル者ハ。自ラ高シトメ人ヲ低看スル等。
 野鄙ノ風俗流行シテ。遂ニ聖賢ノ七竅ヲ窺フ
 能ハス。四書六經ノ註釋幾百部。愈出テ愈誤レル
 ヲ以テ。後人ハ愈聖賢ノ本相ト文字ノ定法トヲ
 誤リ。新ニ發明スル事實ナク。徒ニ註釋書ニ往來
 シテ。性命ヲ終ルニ至レリ。是レ支那ノ文字字性
 ノ別精シカラズ。活辭作用ニ時刻ノ徴ナキ等ニ

坐スルナリ。是ヲ以テ我ト彼トヲ撰ハス。聖賢ノ書ヲ讀テ聖賢ノ心胸ヲ穿ント欲スル者ハ。必ス先ツ言辭ノ性ト文語ノ法トヲ知ラサルヘカラス。是亦タ此舉ノ已ム能ハサル所以ナリ。

○此譯本ヲ熟讀シテ理會シ了レハ。原本ヲ習讀セスメ直ニ和蘭ノ諸書ヲ讀去ルベシト云ニハ非ス。初學者先ツ譯本ヲ讀了リテ後ニ此原本ヲ習讀シ。再ヒ此レト彼レトヲ相照シテ其義理ヲ熟察シ。或ハ初メ原本ヲ習讀シ了リテ。後ニ此譯本ト相照シテ玩味スルハ。許多ノ口授ヲ俟ス。

メ進歩ノ勢ヒ竹ヲ破ルカ如ナラン。一ヲ庶希スレハナリ。故ニ此譯本ハ達者ノ見ヲ煩スニ非ス。唯初學ノ工夫ヲ導引スルノミ。然レモ亦タ初學ニ在テ能ク之ヲ熟讀セハ。成學ノ後原本ヲ翻譯スル時ニ於テ。萬一ノ助ケ無ラサルベケン。

○此書前編ノ上卷ト下卷トハ。西文ヲ作り西人ト對話スルニ非レハ。甚タ有用トセス。西書ヲ學ブニ緊要ナルハ。前編ノ中卷ト後編トナリ。而メ後編ノ中卷ト下卷トハ。殊ニ反復シテ熟讀玩味セシトヲ要ス。

○此書前編ノ中卷ニハ、十品ノ辭類ヲ論ス。故ニ
 中卷文例ノ左側ニ記號實辭性辭、陪辭、數辭、代辭、活辭、副辭、冒辭、接辭、間辭
 ヲ用テ、各種ノ言辭ヲ知り易カラシム。又判辭ナ
 ル者アリ、是、活辭ノ条ニ論スト雖、亦一種ノ者
 ナルカ故ニ、今判辭標ヲ下メ之ヲ分ツ。又數種ノ言
 辭ヲ合メ一活辭一副辭ト為メ看ル者アリ、是、如
 キ者ニ在テハ、各種ノ記號ヲ下スト雖、譯辭ノ
 如ク熟語ニメ見ルヘシ。又編中往往註又ヲ加ヘ
 テ、志カ管見ヲ述ル者アリ、是、如キ者ハ其說ノ上
 下ニヲ加ヘテ、原文ノ論說ニ非ルヲ示ス

○辭例文例ノ如キ、悉ク漢字ヲ以テ對譯セシト
 欲スレハ、所謂ル虎ヲ画ヒテ狗ニ類スルノ恐レ
 アリ。又夕悉ク本邦ノ言辭ヲ以テセシトス
 レハ、雅俗共ニ言辭不足ニメ、對譯ノ用ニ給ラス。
 故ニ多クハ世俗通用ノ漢字ヲ以テセル言辭ニ
 テ對譯スルナリ。然レ此譯本ハ文語ノ法則ヲ知
 ラシムルヲ以テ主トスルカ故ニ、其譯辭ノ如キ
 ハ不當ノ者錯誤ノ者許多ナルヘシ。宜ク辭書ヲ
 點檢シテ之ヲ訂シ、志カ對譯ヲ以テ適當ヲ得タ
 リトスルヲ勿レ

○^アカ^シセ^ノ類ハ聲音ノ記標ニメ、^レッ^テル^ト云^ヒ。
ホイス
Kuis
エイ
paou
マウ
シエン
ルミ
ホーレン
Kotou
クキ
綴セル言辭ノ記標ニメ、^ウオ^{ール}ド^ト云。猶我^{アイ}
^ウエ^オノ類ハ聲音ノ記標ニメ、^イエ^家ウ^マ馬^ミ
ル見キク聞ハ言辭ノ記標ナルカ如シ。然ルニ^ウオ
^{ール}ド^ラ字ト譯スル者アリ。適當ヲ得タルカ如
シト雖モ、支那ノ字ハ本ト物形ノ記標ニメ、聲音
ヲ連綴シタル者ニ非ス。然レ^モ字ヲ指テ言ト云
者^アレ^バ、字ト言ト分別ナキカ如シ。因テ今私ニ
之ヲ分別シテ、聲音ノ記標^レッ^テル^ヲ字ト譯シ、之

ヲ連綴シタル記標^ウオ^トル^ドヲ言辭ト譯ス。抑モ
生民ノ音聲ハ、我 邦五十音ノ清濁ニテ足レ
ルカ如ク、大抵定數アリテ、事物ノ數ハ幾十百萬
其定極ヲ知ル^トナケレ^バ、我 邦及ビ和蘭等
ハ、唯五十音ノ記標ヲ變化スル^ノミニテ、其名稱
ヲ呼^フ^トラ得ルナリ。獨リ支那ノ字ハ、家、馬、見、聞
等ノ如ク、我音ヲ以テセスメ外物ノ形ヲ以テス。
是レ自他ノ分別ヲ誤レルカ故ニ、字形幾萬、其音
義不審ナル者、十ニメ七八ニ居ル。惜ヒ我
邦中古以來支那字間雜シテ、方今ハ殆ト本來ノ

言辭ヲ失亡セリ。故ニ通常ノ文章ハ、國字ト支那
字トヲ相屬セサル可ラサルニ至リ、支那字ノ音
義不審ナルカ為ニ、論スル所ノ義理微妙ヲ盡サ
ス。和蘭言辭ヲ譯セルカ如キハ、大ニ原語ノ美味
ヲ失ヒ、鞋ヲ隔テ痒ヲ搔クノ憾ミアリ。嗚呼中古
何人カ文語ニ支那字ヲ間雜シテ、本來ノ言辭語
法ヲ失亡セルノ基ヲ開ケルヤ、今ノ世ニ至リテ
ハ、強有カノ大學師ト雖モ、亦夕之ヲ如何スル
ナカラシ惜ヒ哉

○志不肖年三十九一月初テ原本ヲ習讀シ、今日

ニ至ルマテ十有二年許、中間世累ノ為ニ看書ヲ
怠ル者若干年、方今ハ
嚴命ヲ奉レテ原本ニ臨メ、研業年月淺クメ、猶
上面ニ一膜ヲ隔テタルカ如シ、亦且フ淺見薄聞
ニメ、固リ和漢ノ學ノ何者タルヲ知ラス、故ニ翻
譯ノ文拙惡ニメ、譯辭亦夕穩當ヲ得ス、或ハ全ク
原語ノ義ヲ誤レル者アラシ、乃チ和漢通常ノ熟
字ナキ者ハ、或ハ先輩ノ採用セル熟字ヲ取り、或
ハ自ラ杜撰シテ熟字ヲ作り、對譯シテ文章ヲ成
ス。毫毛蛇足ヲ加ヘスト雖モ、其文章鄙俗ニメ耳

目ニ可ナラス。讀者ヲシテ或ハ無用ノ看ヲ為サ
シメン。是レ志カ不肖ノ罪ニ出ルヲ以テ。後來ノ
君子若シ能ク之ヲ改竄シテ志カ罪ヲ糾シ。以テ
世ニ公行スルヲアラハ。則チ志カ幸甚此ヨリ大
ナルハナシ

安政二年冬十二月

大庭雪齋誌

和蘭文語凡例前編序

○諸學藝ノ勸進ヲ司レル文社先生其諸般ノ職
業中ニ於テ我本國ノ華美ノ文語ヲ順整ニ學知
セシメント欲スルノ念ヲ其緊要中ノ一事ニ算
入シテ以テ初ニ留地棉多ヲ發行シ。次ニ聖太幾
施スヲ發行セリ。然レ庠校ノ教導者ニ至ルマテ
此目的ニ於テ催進スヘキ所ノ者ハ更ニ皆全備
セシメンカ為ニ亦夕之ニ瓦驚麻知加即チ和蘭
語法學譯
凡シテ和蘭文語ヲ附續セリ
○文社先生ハ此ト彼トニ由テ誠實ニ右ノ目的

ヲ達センヲ欲シ、亦タ以テ本國ノ美ト其文語ノ美ト親密ニ和一セハ、愈益ス國家ノ美ヲ觀厲セシムルヲ企望セルナリ

○右二節ノ序文ハ、第一版本ノ前ニ在リトス。此第二版ニ在テハ、文社先生精密ニ之ヲ再閱シタルノ外、別ニ之ニ加ヘタル者ナシ

文社先生ノ需ニ應シ千八百二十二年春三月第一日亞謨斯的兒達母ノ外史

ヘンデレツキ、ラヘケッス 撰

西肥佐嘉 大庭雪齋

譯

和蘭文語凡例前編

緒言

一 凡ソ人民ヲ禽獸ヨリ分別シテ、大ニ之レカ上ニ尊崇スル所以ノ者ハ、夫ノ一定分明ノ聲音ニ由テ、其思念感慨ヲ他人ニ告諭スル良能ノ外、別ニ事物有ルイナシ。此尊貴ノ良能ハ、凡ソ生民ニ固有セル者ニメ、言語ノ名ヲ冒セル者トス。然メ言語ト云ル者ノ文語ノ義ニ差ヘルヲ、文語ニ在テハ尚一定シテ、聲音言辭ノ殊別ナル綴屬ヲ觀ルカ如シ。是レ文語ハ一个ノ人民、他ノ人民ノ差異

二

ニ於テ、其意念ヲ發露スルニ用ル者ナリ
 言語スル良能ノ賢貴ナルニ由リ、凡ソ口語文語
 ニ關係セル所ノ事故ヲ研究スル^ト、仁智靈明ナ
 ル生民ノ為ニハ、極テ緊切ノ者ト成レリ。因テ文
 語ナル者ハ、如何ノ基本ニ由リ綴屬セルヤ、亦タ
 之ヲ語リ之ヲ書スルニハ、何等ノ事ニ注意スヘ
 キト云^フヲ察知スル^ト、最緊要ノ事ナリトス。乃
 チ之ヲ習學スル所ノ學科ハ、我邦ニ在テ之ヲ語
 法學ト名ク。此科ニ屬セル諸般ノ事ハ、萬國文語
 ト相通スルカ故ニ、此名目曾テ不當トセサルナ

三

リ。而メ其名義ノ普通ナル^トハ、亦タ語法學ノ稿
 ニ論定セル文語ノ名ヲ加^スレハ、尚詳ニ之ヲ證
 スル^トヲ得。故ニ其義ニ由テ、和蘭語法學、佛良察
 語法學、^{英吉利}語法學等ト云^フアリ。今此稿ニハ特リ和蘭文語ヲ以テ其對賓トセリ。
 則チ是レ上ニ云ル語法學ニテ習學スヘキ所ノ
 事故ヲ知ルニハ、各和蘭人ノ為ニ、極テ緊切ノ者
 ナリトス。因テ是稿ヲ具足セシメンガ為ニ、全編
 ヲ區別シテ三卷トシ、其第一卷ニハ和蘭ニ用ル
 音標ノ字、并ニ之ヲ連綴シテ言辭ヲ画スル^トヲ

論シ。第二卷ニハ本國文語ヲ綴屬スル言辭ノ各異分類及ヒ其研學ト用法トノ事ヲ辨シ。第三卷ニハ言辭綴合ノ最要則若クハ和蘭文語ノ好書法讀ヲ解釋スルナリ。然メ此第三卷ハ多ク之ヲ前ニ置ケリ。然レモ其論ノ諸般ハ各異文語分ノ研學ヲ經過セル後ニ非レハ。理會シ易カラサルカ故ニ。此編ニ在テハ之ヲシテ文語分ノ次ニ在ラシムルヲ良ナリトス

大庭雪齋 譯



和蘭文語凡例前編卷之上 千八百二十三年發行

佐嘉 大庭 志 雪齋 翻譯

江戸 片多 哲藏 校定

四

○字并ニ字ヲ言辭ニ連綴スル集合ヲ論ス
○字数 レッテル

和蘭言辭ヲ書スルニ要用ナル音標字ハ其數ニ十二個ニ過ルコトナシ。即チ a, b, c, d, e, f, g, h, i, k, l, m, n, o, p, q, r, s, t, u, v, w, x, y, z 等ナリ。此他

四個ノ字ヲ用ル^セアリ^キ、^キ、^ス、^エ、^イ 是ナリ。然レ^レ 是唯異邦ヨリ来^ル言辭ニ用^ルノ^ミ。即チ *Circus*、

Ocean、^{クイリニユス} *Quivims*、^{キセルキセス} *Foxces*、^{エギフテ} *egyple*、等ノ如シ

五

右ニ記載セル字數ハ、通常^ノ字ヲ和蘭字ニ算入シテ、^シヲ單純^ニ音標トセサル所ノ者トハ稍異ナリトス。然レ^レ ^セノ字ハ獨立シテ和蘭ノ亞併ニ屬スル^一無ク、^ハ眼目ニ兩字ノ合并アリト雖^レ 實ニ單一音ヲ發出ス。故ニ此複形ノ音標ハ、單一音ヲ示ストメ字數中ニ加フル^一。曾テ^テ枉事ニ非ルナリ

六

○字類 ^{ソールテン、パン、レッテル}

凡^ソ字ハ兩類ニ網列ス。其第一類ハ他字ノ助ケナク、獨立シテ全音有^ル者ナリ。第二類ハ第一者ノ配偶ニ由^テ、全音ヲ生ス^ル者是ナリ。故ニ第一者ヲ韻字ト名ケ、第二者ヲ配韻字ト名ク

○韻字 ^{キリンケル}

韻字ナル者ハ、方今採用セル發聲ニ由^レハ、其數六個トス。即チ ^ア、^エ、^イ、^オ、^ユ、^イ ナリ。然レ^レ 本原真實ノ發聲ニ從^ハ、唯五個アル^一。乃チ其最後ノ者ハ、^エノ音聲ニ近通セル音アル者ニメ、其實

七

ハ重複セルト為シテ發聲スヘキナリ。此本原ノ發聲凡ノ口語文語ニ於テ全ク他ト混亂セルカ故ニ亦タ唯^イ字ヲ以テ第六韻字トメ記スル^イヲ得ルノミ。然ノ^イ字ハ亦タ^イト書スル^イアリ。然レ^イ此音標ハ持リ他邦ノ言辭ニ用ユベクメ其發聲ハ^イノ音ヲ與フル者トスルナリ。即チ^イ*pyllis, curyalis, egypte,* 等ノ如シ^イナリ。

ハ八
初メ五個ノ韻字ハ本真和蘭言辭ノ方今發聲ニ於テ常ニ短音ナル^イ字ヲ除ケハ皆遠ノ言辭ニハ短音アリテ那ノ言辭ニハ長音アリトス。故ニ

ア^イ字ハ^イ*bag, kak,* ニハ短ニメ^イ*lagon, rank,* ニハ長ナリ^イ字ハ^イ*awde, bel, bewyl,* ニハ短ニメ^イ*beek, been,* ^イ*lewen,* ニハ長ナリ^イ字ハ^イ*bot, mot, wolk, zolk,* ニハ短ニメ^イ*boom, boer, koken,* ニハ長ナリ^イ字ハ^イ*mint,* ^イ*slim,* ニハ短ニメ^イ*slim, vlier,* ニハ長ナリ

(注)重複ノ^イ若クハ古昔ノ^イヲ殆ト兩音^イノ如ク發聲シタリシヨリ以來長音ノ^イハ唯異邦ヨリ來レル言辭ニ用ルノミ。^イ*origines, sakaria,* ^イ*justitie,* 等ノ如シ。乃チ方今ノ人ハ是ニ由テ我邦中一般ニ^イヲ以テ延長セル^イト為シテ

釋口言文 表一

發聲シ。衆態ニ於テモ當ニ若ク觀ルベシトセ
ン。因テ此終末者ヲ脱却セズンバ。普通ノ説ト
一致シテ、^イヲ兩音中ニ列次セサルノ理ヲ辨
セサルベシ

九

右ニ説明セル者ノ外^エ字ト^オ字トニ就テ。尚ヲ
聲音ノ差別ヲ注目スヘキ一アリ。即チ此二韻字
ハ長短ノ音アリテ。亦タ緩急ノ音アリ。故ニ^エ字
ハ ^{アールテ} *aarde*, ^{グレン} *gekin*, ^{トロスレ} *troffel*, ニハ緩短ニメ ^{ヘル} *fel*, ^{ゲセル} *gezel*,
^{ス子ル} *suel*, ニハ急短ナリトス。然メ亦タ ^{ベック} *beck*, ^{ウエック} *weck*, ^{七限}
^{義ナ} 及 ^{ゲレン} *geren*, ^{レン} *len*, ノ第一字綴ニハ緩長ニ
ル時

一〇

綴ニハ急長ナリトス。又^オ字ハ ^{ボル} *bol*, ^{フォルク} *vol*, ^{モルク} *mol*, ニ
ハ緩短ニメ ^{コック} *kok*, ^{モル} *mol*, ^{フォルク} *vol*, ニハ急短ナリ ^{ボール} *boor*, ^{モール} *moer*,
ニハ緩長ニメ ^{ボーム} *boom*, ^{ローレン} *looren*, ニハ急長ナリトス
^エ字^オ字ノ短音緩急ノ區別ニ在テハ。各個ノ發
聲ニ於テ自ラ分明ナルカ故ニ。之ニ思索ヲ用ヒ
サルナリ。然レモ其長音緩急ノ區別ハ。諸和蘭人
ノ發聲ニ於テ。全ク廢亡セリトス。故ニ人人通國
ノ文語中。都下邊境ノ區別ニ於テ。其本型ニ疑或
ヲ生スルナリ。但有識ノ文語學家。古ヘ襲用セル

文語ヲ比較シ、或ハ古今文章家ノ卓見ヲ證シ、或ハ海國人ノ發聲、本國諸方及ヒ「マリス」地方ノ發聲唱呼ニ由リ、或ハ「エ」字「オ」字ノ長音緩急ニ就テ、一定ノ區別ヲ示セル常用換音ニ本ツキ、其型ヲ一定シテ、疑或ノ論理ヲ防止スルヲ得タリ、然レドモ「エ」字「オ」字長音緩急間ノ區別ノ辭画ニ於テ變幻ニ罹レル者ハ、將ニ次卷卷下ニ於テ之ヲ詳説セントス

二

韻字ハ他韻ノ前ニ在テ、言辭ノ冒頭ニ出ルルハ、發聲ノ急速ナルカ為ニ、稍配韻字ニ似タル音

聲ヲ得ル者ト知ルベシ、是態ニ在テハ、世間ニ顯著ナルカ如ク、長尾ヲ加ヘテ之ヲ書スルナリ

○配韻字 メーデキリンケル

「セ」字「キ」字「ク」字ハ、異邦ヨリ來レル言辭ニ非レハ適當セサルヲ前條既ニ論説セリ、本原ノ和蘭言辭ニ在テハ、「ス」字「ク」字「セ」字ノ代リトシ「シ」字ノ代リトス、即チ *Stieren*, *Belber*, *Kwaad*, *recks*, 等ノ如シ、然レドモ「セ」字ノ「ス」音ヲ受ル者、其原ハ異邦ニ取レリト雖、採用ノ常習ニ由テ、和蘭都府ニ嫁シタル言辭ハ、尚之ヲ用

三

一三

ルナリ。即チ *ocean*, *officier*, *citraen*, 等ナリ。但シ
 此等ノ言辭ハ次卷(卷下)ニ於テ詳説スルナリ
 此字ハ韻字ノ前ニ當テ呼氣ノ怒張スルニ外ナ
 ラス。故ニ此字ハ配韻字中ニ算入スルヲ能サル
 ナリ。乃チ尋常發聲ニ聽聞スルカ如ク。我本國ノ
 諸方ニ在テ發聲ニ之ヲ脫除シ海境人及ヒゴウ
 ダ人ノ通常 *foam*, *foond*, *huus* (家) ト云ベキ者ヲ
waan, *oond*, *huus* (家) ト云ルハ之カ為ナリ。然メ
 亦夕尋常口語文語ニ在テ *hoorn* (聞) 辭ニ於ル
 此字
 ヲ脫去シテ *oorn* (聞) ト云ルトアリ

一四

前ニ記載セル配韻字ノ數個ハ其區別發聲ノ緩
 急ニ外ナラサル者アリ。故ニ是ノ如キ者ハ之ヲ
 親交配韻字ト名ルナリ。即チ此類ニ屬スル者ハ
h, *l*, *g*, *v*, *z*,
p, *t*, *ch*, *f*, *j*,
 ナリ。其前行ノ五個ハ緩音ニメ。後行ノ五個ハ急
 音ノ者トス。之レカ發聲ノ差ハ *baal paal*, *kek, pek*,
tot, top, *lak, tak*, *doek, toek*, *moed, moet*, *fa*,
gan, fischen, *logen*, *coochen*, *dog*, *doek*, *waan, foam*,
veilig, *veilen*, *fagen*, *xogen*, *willen*, *willen* トニ於テ觀

ルベシ。然ノ字ハ字綴ヲ止結スルニハ毎
 ニ緩ニ過ルカ故ニ *gamin, lezin* ト書スル者ニハ字
 ス字ヲ用テ *gapt, gapt, fees, east* ト書スルナリ。其他
 三個ノ緩音字 *g, g, g* モ亦タ然リトス。然レ此
 字ハ將ニ次(卷下)ニ於テ詳説セントス

○韻字連合并二音三音連合

韻字ノ連合ハ同音ヲ延長スルト混音ヲ呼唱ス
 ルトニ用ユ。其同音ヲ延長スルニハ當ニ二個ノ
 同韻字ヲ用ユベシ。即チ *maan, been, boorn, miltun* ノ如
 シ。其混音ヲ呼唱スルニハ各異ノ韻字ヲ連合ス

一五

ベシ。則チ其連合ニ由テ二音三音ヲ生スルナリ
 二音ハ *a, e, i, o, u* ノ一者ト *e, i, u* ノ一者トノ
 連合ニ成ル即チ

ada ハ *dawin, paus, lauren's* ノ如シ

ei ハ *leiden, veiden, meiden* ノ如シ

vigen, myden トハ異ナリトス

eu ハ *gein, klein, reik* ノ如シ

ie ハ *krift, kipt, tiel, hien* ノ如シ

oe ハ *doen, goed, moed, noet* ノ如シ

ou ハ *goud, found, vroum* ノ如シ

一六

vii, *ha*, *huid*, *huid*, *huid*, *mit* ノ如シ

古昔ハ又タ二音ノ^{アイ}ヲ用ヒタリ。然レ此音ハ方今ノ文語ニ用ヒズ二音ノ^{エイ}ヲ以テ之ニ代ユルナリ。即チ此「エイ音ハ^{アイ}」^{辞間} ^マ*mai* ^イノ代リニ^{エイ}

^{辞間} ^メ*mei* ^イ ^{月五} ^ロ書スベキ者ナリ

又タ重複ノ^{アイ}*ae*, ^{エイ}*oe*, ^{オー}*oe*, ト^イ若クハ^トノ連合ニ由テ二音ヲ得ルナリ即チ

aei, *haae*, *fraai*, *taai* ノ如シ
aei, *haae*, *fraai*, *taai* ノ如シ
aei, *haae*, *fraai*, *taai* ノ如シ
aei, *haae*, *fraai*, *taai* ノ如シ

一七

ooi, *dooi*, *fooi*, *grooi* ノ如シ

三音ハ^イ*ie*, ^ウ*oe*, ^エ*te* 若クハ^イトノ連合ニ成ル即チ
oei, *foei*, *noei* ノ如シ
oei, *foei*, *noei* ノ如シ
oei, *foei*, *noei* ノ如シ

○配韻字連合

一八

我邦ノ文語中ニハ種種ノ連合ニ於テ韻字ヲ間雜セズメ相并列スル配韻字アリテ^{言辭}若クハ字綴ノ始トナル^ヲ識得スヘシ。乃チ配韻字二個ヲ連綴シ。少ニハ三個ヲ連綴セル合并配韻字ノ衆多ナルハ之レカ為ナリ。然レ其他者ト并列

スル配韻字ハ、*ch, l, m, n, p, r, s, t, v* ナリトス此
 配韻字中 *ch, schuap* 等ニ於テ *s* 字ヲ其前ニ冠シ
 字ハ配韻字ノ數者ヲ冠ス即チ *blacient* ニハ *ch*
 ラ冠シ *klits* ニハ *ch* ラ冠シ *gump* ニハ *g* ラ冠シ *kl*
inkon ニハ *h* ラ冠シ *plant* ニハ *p* ラ冠シ *staan* ニハ
s ラ冠シ *stam* ニハ *s* ラ冠ス而メ *n* 字ハ *smack* ニ
s ト并列シ *n* 字ハ *knecht* ニハ *h* ト并列シ *snuit* ニハ
s ト并列シ *h* 字ハ *spuit* ニハ *s* ト并列シ *se* 字ハ *breed*
 ニハ *s* ト并列シ *dragen* ニハ *d* ト并列シ *gras* ニハ *g* ト并
 列シ *krasfen* ニハ *h* ト并列シ *braten* ニハ *p* ト并列シ *tee*

一九

selon ニハ *t* ト并列シ *veucht* ニハ *v* ト并列シ *nuken*
 ニハ *n* ト并列シ *h* 字ハ *palen* ニハ *p* ト并列ス又 *h*
 字モ之ト同法ニテ *staan* ニハ *s* ラ冠シ *n* 字ハ *dragen*
 ニハ *d* ラ冠シ *krasfen* ニハ *h* ラ冠シ *krasfen* ニハ *h* ラ冠シ
inkon ニハ *h* ラ冠ス配韻字ニ個ヲ連合シテ言辭若
 クハ字綴ヲ始ニ相并列セル者ハ *Schrick, sprak, ste,*
ono ニ於テ觀ルベシ而シテ此 *h* 字ハ或ハ *ch* ト
 トニ連合シ或ハ *h* ト *h* トニ連合シ或ハ *h* ト
 トニ連合スルナリ
 異邦ヨリ來レル言辭ニ於テ時ニ配韻字ノ一種

釋和蘭文語

連合ヲ用ル^ル一アル^ルヲ知ルベシ。是レ我邦ノ文
語ニ於テハ非常ナル所ノ者ナリ。即チ *plebs, ple,*
pra, ニハ我邦ノ *字*ニ同シキ發聲ニテ *pr,*ノ連
合ヲ用ヒ *Thames locks, apotheker,* 等ニハ *th,*ノ連合ヲ用
ルナリ。

○韻字ト配韻字トヲ連合シテ **言辭**及ヒ

字綴ヲ成ス

二。
字綴及ヒ **言辭**ハ、韻字ト配韻字トノ連合ニ成ル。
但一個ノ韻字ハ、時ニ獨立シテ一個ノ字綴ヲ成
シ。亦タ一言辭ヲ成ス^ルアリ。即チ *st,*ト *ot,*ト *ab,*

ト *or,*トニ於テシ川名ノ *rot y, de,*代辭ノ *st,*等ノ
如シ。然レ凡字綴ヲ形成スルニハ、少數ノ極ト雖
凡多クハ一韻字ト一配韻字トノ連合ニ成ル。亦
タ或ハ各異韻字ノ連合ニ由テ字綴ヲ成シ。或ハ
韻字ト配韻字トヲ種々ニ連合シテ成ル者アリ。
即チ次例ニ於テ分明ナルカ如シ *gy, my, nic, the op,*
new, eu, oot, tee, kie, hoc, oom, con, oof, man, tek, tok,
tyk, gaan, been, boom, mielen, toek, bruis, hand, melk, i,
at, bont, mind, kaart, want, loopt, feucint, markt, werft
kindt, toersicht, keensicht, slag, vlieg, steen, vleek, freem,

スライイ グロイイ グランド スタン スタート グロート グロート スチム スプリ
kwan, quaci, stand, stant, stant, stant, stant, stant, stant, stant,
spreidt, steamt.

二

右ノ例ニ顯著ナルカ如ク。一字綴能ク一言辭ヲ
成レ。一韻字亦タ一言辭ヲ成ス。一ヲ得。然レ此言
辭ハ多ク。二個若クハ三四個ノ字綴ニ成ル者ト
ス。即チ ハート ハート ハート ハート ハート ハート ハート ハート ハート ハート
raden, bestanden, rechtvaardigheid, goedertierenheid,
ongewetsheden, konstantinopolitanen, operationen tegenwoordig,
heid. 是數言辭ハ我邦ニテ二個ヨリ九個ニ至ル
マテノ字綴ニ成レル者ナリ

三

○單純言辭合并言辭

凡ソ言辭ハ單純ノ者アリ合并ノ者アリ。其單純
言辭ニ屬スル者ハ 山 家 大 善
berg, huis, groot, goed, 等ノ如ク。
其多少顯著ナル他辭ヨリ誘導セラレサルガ故
ニ。幹辭若クハ根辭ト名ケタル所ノ者ノミナラ
ス。 諸 家 大
gheugt, huiselijk, groothed, 等ノ如キ誘導セラレ
タル者モ亦タ之ニ屬ス。合并言辭ハ二個若クハ
三四個ノ言辭ヲ一言辭ニ合一セル者是ナリ。即
チ 山 家 大 勝 家
bergrot, huisdier, grootmoedig, goedwillig, huisgodsdic,
not, ノ如シ。亦タ 承 術 學 學
reantsnijfsnijfschool, ニ於テ觀
ルカ如ク。四個乃至五個ノ言辭ヲ一言辭ニ合并

スルヲ得。然レ是ノ如キ合并ノ三言辭以上ニ成レル者ハ、紛雜ニメ良好ナラサルヲ以テ、宜ク之ヲ避クベキナリ

二三

次卷中ニ於テ詳説スル各異文語分ノ衆者ハ、種

々ノ合并ニ可ナル者ナルカ故ニ、合并言辭ノ數ハ甚タ衆多ナリトス。試ニ二三ノ例ヲ看ルベシ。

huisdien, *huisgodsbijnt*, ニハ二個若クハ三個ノ實

辭合一シ *grootmoedig*, *goedwillig*, ニハ二個ノ陪辭合

一シ *goudgeel*, *ginstrijkt*, ニハ一實辭ト一陪辭ト合

一シ *laagmoed*, *grootspreken*, ニハ之ニ反シテ合一シ

overmoed, *tegenspoed*, ニハ一冒辭ト一實辭ト合一シ
brinkgeld, *verhuiskunst*, ニハ一活辭ト一實辭ト合一シ
gedenkenwaardig, ニハ一活辭ト一陪辭ト合一セル
カ如シ

二四

其他合并ニ就テ尚注目々ヘキ事アリ。即チ全言辭ノ義ヲ重ク定ムル者ハ、常ニ前ニ位セル者ナリト知ルベシ。故ニ *huisdier* ト云ル者ハ、其性人ニ親近シテ、人ヲ恐避スル獸ニ反セル者ヲ示スナリ。喻ハ *merkhuus*, ト云ル者ト *huishwerk*, ト云ル者トハ、全ク他義ヲ徴スルナリ。即チ業家ハ業ヲ為

スニ適當セル屋ヲ示シ、家業ハ屋中ニ為ス所ノ業ヲ示スカ如シ

和蘭文語凡例前編卷之上終

和蘭文語凡例前編卷之中 千八百二十二年發行

大庭志 雪齋 翻譯

片多 晉 哲藏 校定

○各異文語分ランデルシケンテ子

○總括

五

凡ソ文語ヲ綴屬スル言辭ハ、分殊ノ性アル者ニ
メ、各異ノ名ヲ冒セル者トス。然メ其有生トナク
無生トナク獨立體ヲ示シ、或ハ人人ノ心意中ニ

獨立體ト為シテ觀ル所ノ事物ヲ示ス言辭ハ皆
 之ニ實辭ノ名ヲ命ス。其人獸事物ヲ定稱シ。若ク
 ハ溥稱セント欲スレバ。則チ性辭ヲ用ヒ。人物ノ
 形狀性質ヲ語ルニハ。陪辭ヲ以テ之ヲ説キ。物體
 ノ數ヲ示スニハ。數辭ヲ用ヒ。行文中物名ノ毎回
 反復ニ由テ。神思ヲ勞シ智考ヲ紊ルヲ勿ンカ為
 一。物名ニ代換スル短辭ノ代辭ト名クル者ヲ用
 ヒ。事物ノ動作百般ヲ示スニ有用ナル言辭ハ。之
 ヲ活辭ト名ルナリ。此辭ハ蓋シ實辭ト相待テ。文
 ノ重處ヲ為セル者トス。何者此兩者ノ一ヲ欠ク

クハ。則チ全義ノ存スル能ハサレバナリ。然メ活
 辭ヲ以テ示シタル動作情態ノ百般。若クハ陪辭
 ヲ以テ示シタル形狀等ハ。屢ハ其審定ヲ要スル
 フアリ。是目的ヲ示シ。并。時刻地處ノ狀態等百般
 ヲ示ンカ為ニ。副辭ト名クル言辭ヲ用ユ。亦タ冒
 辭ト名ケタル一種ノ言辭アリ。此辭ハ彼此物體
 ノ互相關係ヲ示シ。或ハ實辭ヲ後接シテ一个ノ
 狀態ヲ示スニ適ス。章句若クハ全文ノ相接続セ
 ルヲ示スニハ。亦タ一種ノ言辭ヲ用ユ。此辭ハ其
 一定セル故ヲ以テ之ヲ接辭ト名ク。若シ唯感慨

嗟歎ノミヲ示サント欲シテ之ヲ加ルニハ、文語ニ一種別ノ言辭アリ。此辭ハ之ヲ間辭ト名クルナリ

右ニ枚舉セル言辭ノ類ハ、一个ノ文語ニ缺如トル性辭ヲ除ケハ、皆萬國ノ文語中ニ見存シテ其切要ノ成分ヲ為セル者トス

以上ノ論說ヲ以テスレバ、和蘭文語ナル者ハ、數國ノ文語ト同ジク、次條十品ノ辭類ヲ有シナリ

第一 實辭

原名セルフスタンヂヘ、ナリムウオールド、獨立名辭ノ義我邦ノ體言ニメ漢人ノ所謂死字ナリ今實辭ト譯ス

第二 性辭

原名「ソドウウオールド」冠被辭ノ義今性辭ト譯ス我邦文那等ハ此辭缺如セリ

第三 陪辭

原名「ベイフーゲレイケ、ナリムウオールド」陪從名辭ノ義今陪辭トス所謂ル形容字ナリ

第四 數辭

原名「テルウオールド」數辭ノ義

第五 代辭

原名「ホールナムウオールド」代名辭ノ義今代辭トス我邦支那共ニ此名稱ヒテ用ヒズ

第六 活辭

原名「ウエルキウオールド」作用辭ノ義今活辭ト譯ス

第七 副辭

原名「ベイウオールド」副辭ノ義漢人ノ所謂ル虚字ナリ

第八 冒辭

原名「ホルセツセル」冒頭辭ノ義今冒辭トス於子由自ノ類ニ當ル者アリ

辭トス我 邦支
邪共ニ名稱ナシ

第九 接辭

原名「フ」グウオ「ル」接續辭ノ義所謂ル
轉關辭ノ類ナリ今接辭ト譯ス

第十 間辭

原名「チ」ユスセ「ウ」ル「フ」セル
チ鳴呼「チ」ユスセ「ウ」ル「フ」セル
ヲ示ス辭ニメ章句ノ中間若クハ
首尾ニ挿入スル辭ナリ因テ譯シ
テ間辭トス

此文語分ノ各者ハ、右ニ列舉セシ次序ニ從テ、將
ニ各別ニ之ヲ詳論セントス

甲○實辭 セルフスタンチフ、
ナームウオールドン

三七

實辭ナル者ハ、論スル所ノ人獸事物ヲ記スル者
ナリ。然メ其體質アリテ實ニ天地中ニ見存セル

三六

者ト獨リ人人ノ想像中ニ摸生シテ形體アルカ
如キ者トヲ擇ハズ。皆此辭ノ用トス。 man, woman,

boom, trees, family, table, things, Schonheit 等ノ如キ是ナリ

實辭ハ本名ト通名トノ二類ニ綱列ス。其本名ナ
ル者ハ、同類ノ他ヨリ拔出シ。或ハ單一人ニ屬シ。
或ハ單一物ニ屬セル者是ナリ Jan, pietor 以上人

次、長光ノ niederland, amsterdam, pangs, 以上地名即日
類ノ如シ

其通名ナル者ハ同類事物ノ衆者ニ合當セ
ル者ナリ manisch, man, woman, beer, hand, stad, land, things,

gewagtigheid, 等ノ如シ

三九

諸實辭中小辭ノ名ヲ命シ。事物ヲ細小ニメ記スル者アリ。其細小形ハ *je tje* 或ハ *pje* ヲ辭尾ニ加フルニ成ル *borpje*, *koetje*, *boompje* ノ如シ *je* 若クハ *jen* ノ代リニ亦タ *ken* ヲ用ルヲアリ *kindken*, *jongstken* ノ如シ。古昔ニ在テハ細小形辭尾ノ *je* ト *je* トヲ用ヒタル者アリ *windkeken*, *moogdelijck*, *oogelijck* ノ如シ。其他實辭ニ於テ尚注意スベキ三事アリ。其性ニ注意スル一ツ。其數ニ注意スル一ツ。其格ニ注意スル一ツナリ。今之ヲ論スル將ニ性ヲ以テ初メントス

三〇

○實辭ノ性 *ゲスラフテン* 實問卦輪
天地中ノ有生物ニハ。自ラ兩種男女ノ性アリト云フヲ察シタル目的ヨリ。業既ニ人ヲシテ夫ノ文語中ニ於テ。人獸事物ヲ示ス所ノ言辭ニモ。亦カクミトタ若キ差別ヲ歸ントスルノ工夫ニ至ラシメタリ。但衆物ノ衆名能ク兩性ノ各者ニ歸ス可ラサル者アルトヲ理會シタルカ故ニ。其列伍ヨリ若干ヲ抜抽シテ之ニ間性ノ目ヲ下スヲ得タリ。蓋シ此間性ナル者モ。亦タ猶初メ兩者ノ如ク。一定徵ノ別アルヲ以テ。諸國及ヒ和蘭文語ニ三種

三一

三二

ノ性ヲ歸スルニ至レリ。男性マインチ 女性フロウ 間性レイケ
オシセ 是ナリ。諸國ノ文語、殊ニ和蘭ノ文語ニ於ル。
 是、各種定性ノ本原ハ、何等ノ事ニ本ツケルヤ。茲
 ニ之ヲ檢査スルヲ能ハス。故ニ此三性ヲ知ルニ
 合當セル數人ノ目的ヲ舉ルヲ以テ、足レリトセ
 シトテ欲ス。其徵ハ乃チ古ヨリ今ニ至ルマテ、和
 蘭文語中ニ於テ、定然トメ見ル所ノ者ナリ
 和蘭實辭ノ各種ノ性ハ、常ニ其前ニ先テル性辭
 ニ於テ察スヘク、并ニ之レカ變幻、殊ニ性辭レイケ
 於テ顯著ナリトス。此性辭ハ乃チ猶間性辭レイケハ

三二

其性ニ屬セル言辭ヲシテ、分明ニ他者ト分別ス
 ルカ如キナリ。蓋シ每辭ノ性ヲ知リ、亦タ其疑或
 ヲ防カント欲ルニハ、當ニ宜ク善文者ノ定正ニ
 本ヒテ、辭性ヲ記シタル辭書ヲ點檢セサル可ラ
 ス。然レモ亦タ有識詞宗ノ定論ニ係リタル通則
 ト驗徵トアリ。故ニ今其多少變則ニ罹ラサル者
 ラ撰擇シテ、茲ニ之ヲ略説セントス
 男性ナル者ハ即チ
 第一男子ノ本名皆是ナリ *Jacob, pieter, millem* 我忠
 光國俊等ノ如シ 度長

三三

第二 男子ノ資質貴位職分ノ名皆是ナリ *broeder* 兄弟

vader 父, *heer* 君, *koning* 王, *vorst* 君長, *koopman* 商人, 等ノ如シ

第三 *aan*, *en*, *ien* ニ尾レル實辭ノ動作スル男子ヲ

示ス者ハ其活辭ヨリ轉セルト他ノ實辭ヨリ

轉セルトヲ問ハズ皆是ナリ *makeklaar* 中繪, *mandelaar* 散成

kuiper 桶匠, *veerman* 漁工, *logeman* 雇言人, *kondeker* 破成者, *keelster* クニラ御スル, *tuinier* 圃師, 等ノ

如シ

第四 活辭ヨリ轉シテ *en* ニ 尾レル實辭ノ動作ス

ル人ヲ越テ事ヲ為ス器械ノ義ニ轉用セラル

者是ナリ *snijden* 燭心剪, *stopen* 拂塵子, *vegen* 帚, *wijzen* 指絨, 等ノ如シ

第五 獨立セル他性ノ辭ト雖也男子ヲ示スニ其

情態ヲ認テ用エル辭是ナリ *bleed* 漏, *ontdeigo* 不獲者, *kerstmacht* 慈漢

blaaspraak 太平樂言人, *broet spul* 邪魔人, *lidmaat* 同門徒, *voerspraak* 代言人, 等ノ如キ數多

ノ類

第六 殊別ノ石ヲ示ス時ノ石名是ナリ *opacht* 瑪瑙, *zaffier* 水晶

diamant 金剛石 ノ如シ

第七 *dom* ニ 尾レル辭ノ資質力勢状態ヲ示ス者

是ナリ *adelendom* 貴官, *eigenaam* 持物, *ouderdom* 老年, *rijken* 富, 等ノ如

シ。他 *dom* ニ 尾レル辭ノ間性ナル者ハ將ニ下

條ニ於テ詳説セントス

三四

第八 *adem, fadem, kaltem, flistem,* ノ如ク *em, sem,* ニ尾

ル辭若クハ亦タ *lem, tem,* フ *em, um,* ニ略セル

辭是ナリ *galn, kahn, kahn, helm, nahn, aren, jehem, storm,*

等ノ如シ

女性ナル者ハ即チ

第一女子ノ本名皆是ナリ *cornelia, maria, elisabet,*

(我秀子, 富子, 或ハ) 等ノ如シ

第二女子ノ資質貴位職分ノ名皆是ナリ *kirsten,*

diensmaagd, kaken, kammer, 等ノ如シ。是名辭中獨

リ *myk,* ノニ變則ニ罹レリトス

第三 *in, es, sten,* ノ辭尾ヲ加ヘテ男性實辭ヨリ轉

シタル辭若クハ亦タ男性辭尾ノ *en, er, sten,* ニ

變シテ女子ヲ示ス辭是ナリ *koningin, vromden, mi,*

maes, hondares, herbergijster, kinnester, roester, loep,

ster, kanger, 等ノ如シ

第四各個ノ字名皆是ナリ *de, o, de, t,* 等ノ如シ

第五獨立セル物體ノ如クニ示セル算數是ナリ

de, vier, de, negen, de, dertig, 等ノ如シ

第六陪辭ヨリ轉ジテ *schep,* ニ尾リ情態ヲ示セル

辭是ナリ *schijbschap, droonkerschap, gianschap,* ノ如シ。亦

夕同辭尾ニ尾レル辭ノ他性ノ實辭ヨリ轉シ
テ各人ノ總類ヲ一團體ニ見セシムル者是ナ
リ 兄弟中間 *brüderschap*, 法徒 *priesterschap*, 詩人 *yuuderschap*, 等ノ如シ。而ノ
間性辭ノ *schap*, = 尾レル者ハ將ニ次ニ於テ詳
說セシトス

第七 陪辭若クハ判辭ノ後ニ *heid* ノ尾ヲ領シテ。
以テ情態ヲ示ス辭是ナリ 善キ *goedheid*, 正直 *rechtvaardigheid*, 世開 *leedheid*, 能辨 *wijsverstandheid*, 等ノ如シ

第八 他ノ實辭ヨリ轉シテ *heid* = 尾リタル辭ノ状
態職分作業ヲ示セル者是ナリ 尼 *abdij*, 藥名 *arkensijde*, 街人 *bergweg*,

盜事 *diefstal*, 社中 *maatschappij*, 画工 *schilderij*, ノ如シ。但シ此終末ノ
者ニ在テハ之ヲ誤リ認テ時ニ *het schildery* ト云
ルトアリ

第九 活辭ヨリ轉シ *ing* = 尾リテ其本来ノ作用ヲ
示セル辭是ナリ 勸 *aansporing*, 譽 *belooning*, 言付 *toespreking*, 諫 *vermaning*, 等ノ如シ

第十 活辭實辭判辭ヨリ轉シテ所為資質ヲ示ス
辭ノ *nis* = 尾レル者是ナリ 記録 *geschiedenis*, 用 *schouwdenis*, 戲侮 *lykenis*, 秘密 *geheimenis*, 記號 *gedachtenis*, 形容 *gestichtenis*, ノ如シ。
而メ間性辭ノ *denis*, ナル者ハ變則ニ罹レリ是

レ蓋シ不當ナリト雖^証 *politigouis* 辭ニ於テ間
性タルヲ觀ルベシ

第十一 陪辭若クハ判辭ヨリ轉シテ^テニ尾レル

辭是ナリ *hoogte* ^{高サ} *diepte* ^{深サ} *gedaanste* ^{形ナ} *gedachte* ^{考エ} 等ノ如シ。又夕

同尾ナル辭ノ其原ヲ活辭ニ取レル者は是ナリ

gegerste ^{求メ} *behoefte* ^{要用} *slagte* ^{歎キ} *schamte* ^{耻ナ} 等ノ如シ。然メ活辭

ニ起原セル辭ハ其^エ字ヲ割去セル者ニ在テ

モ亦夕同性ヲ保持スルナリ *draagt* ^{孕テ} *drift* ^{浮ク} *slaght* ^{歎キ} 等

ノ如シ

三五 間性ナル者ハ即チ

第一 國名地名府名等ノ前ニ性辭ヲ領セズ。狀態

ヲ記スルヲ有サル者は是ナリ *hollands* ^{ホルラント} *frankensyk* ^{フランケレイキ} *am* ^{アム}

stedenam ^{ステルダム} *parijs* ^{パレイイス} *rijnsyk* ^{レインスウエイキ} 等ノ如シ。此名辭ノ前ニ陪

辭ヲ加ル片ハ即チ *het* ^{勢ニアル} *magtije* ^{フランケレイキ} *frankensyk* ^{勢ニアル} *het* ^{勢ニアル}

volksyke ^{民多キ} *parijs* ^{パレイイス} *het* ^{和好} *scheds* ^{為シタル} *stuitende* ^{トスル} *rijnsyk* ^{和好ヲ為シ}

等ト云ナリ。然レ凡國名地名ノ性辭ヲ冠セル

者ハ其境内ノ性質若クハ特異ノ辭尾ニ因テ

其性定レル者トス。即チ *de* ^{トス} *betint* ^{トス} *de* ^{トス} *velant* ^{トス} *de* ^{トス} *krum* ^{キウム}

de ^{トス} *lemmer* ^{トス} *het* ^{トス} *geest* ^{トス} 等ノ如シ

等ニ雜貨礦物ノ通品ヲ示ス辭是ナリ *het* ^{トス} *boek* ^{トス} *het* ^{トス}

graan 穀 *diamant* 銅 *koper* 金 *gold* 石 *steen* 鉄 *ijzer* 等ノ如シ。

第三實辭ト為テ用ヒタル陪辭是ナリ喻ハ *het eep* 圓サ *vein* 骨ナ ノ如シ。又夕其本原ハ活辭ノ不定法 オハナシ

ナル者ヲ實辭ト為テ用ヒタル辭是ナリ *het be* 飲 *inken* 食 *eten* 生キ 等ノ如シ

第四細小ノ辭尾アル實辭是ナリ *het meeste mannetje* 小童 *jongsten* 雛 *kindchen* 等ノ如シ

第五 *sel* ニ尾リテ活辭ヨリ轉シ其活動ニ起因シテ成レル事物動作器械ヲ示ス辭是ナリ *lofsel* 醸 *breinwel* 人造物 *maaksel* 天造物 *schepsel* 等ノ如シ

第六他ノ實辭ヨリ轉シテ *sel* ニ尾レル辭是ナリ *gebente* 諸骨 *gebeyte* 諸山 *gedichte* 諸部分 *gevoelt* 諸鳥 等ノ如シ

第七活辭ノ不定法ニ *en* 字ノ奪去ト *ge* 字ノ冒頭トヲ以テ轉シタル辭ノ其活辭ノ動作ヲ示シ

或ハ亦夕操作シタル事物ヲ示ス辭是ナリ *het* 驚キ *gevaad* 叫ビ *gehoep* 馬乘 *gecry* 雷鳴 *gedonder* 怒嘆 *gejammer* 燒鉄 *gehoek* 祭屋 *geboort* 烘物 *gebruaud*

等ノ如シ。然レ *re* 視帖冒辭ヲ如ヘテ結画セシ活辭ヨリ轉セル辭ニ在テハ冒辭ノ *ge* ヲ屏除

スルナリ *het volq* 陣營 *kerocint* 悔 *ontwerp* 草稿 *verkliff* 宿慶 等ノ如シ

第八 *Sekap*, ニ尾^{シカフ}レル辭ノ官務職分姿質ヲ示ス者
是ナリ *ket Burgerweshap*, *meesterweshap*, *priesterweshap*, 等ノ
如シ

第九 人人ノ社中若クハ總括ヲ示セル辭ノ *dom*,
尾^{ドム}レル者はナリ *ket volgheden*, *heiden dom*, *priesterdom*,
等ノ如シ

此三性ヲ知ル通則ノ外尚其性ノ殊別ノ微ヲ辨
明セントス

第一 茲ニ通性ト名クル實辭アリ。是レ男子一就
テ用ユレハ男性トナリ。女子ニ就テ用ユレハ

三六

女性トナルカ故ナリ。即チ *broeder*, *broel*, *gemaal*, *geint*,
gids, 等ノ如キ之ニ屬ス。又 *degenoot*, *echtgenoot*,
ketgenoot, 等ノ如ク *genoot* ヲ配合セル辭并ニ *ling*,
尾^リレル辭是ナリ *jongeling*, *kinneking*, *vonckeling*, 等ノ
如シ

第二 又タ同性若クハ偏性ト名ル實辭アリ。是レ
男性トナク女性トナク間性トナク。男女兩者
ニ就テ用ユレハ常ニ其固有ノ性ヲ保持セル
カ故ナリ。是ヲ以テ *arcend*, *konel*, *keuwerik*, *olyant*,
yink, *voet*, 等數多ノ辭ハ此雌ニ就テ用ユト雖

凡常ニ男性ノ者トス。之ニ反メ *hief* 馬 *hwaai muisch* 蛇
hiong 等ノ衆辭ハ。牡雄ニ就テ用ユレ。凡常ニ女
 性ノ者トス。然メ *kind* 辭ト *paard* 馬 辭トハ。男兒女
 兒牡馬牝馬ノ別ナク間性ニ用ユ
 第三時世ニ由テ性ノ轉變ヲ得タル實辭アリ。是
 ラ以テ兩性ニ見ハレ。又一ツハ三性ニ見ハル
 者アリ。故ニ方今男性ニ用ル辭ノ *good* 死 *tyd* 時
 ル者。古昔ニ在テハ女性ニ用ヒタリ。即チ *de heer*
tyd 時 *in de tyd* 此時 *ten doot* 死 *evengen* 來タス 等ノ
 成語ニ於テ粲然タリトス。方今ハ獨リ間性ノ

之ナル *best* 獸 辭ト *best* 祭 辭モ亦タ昔時ハ女性ニ
 用ヒタリ。 *de best* 遊 *spelen* 遊 *ten best* 祭 *gaan* 行 等
 ノ成語アルハ蓋シ之ニ因レルナリ。而メ *oog*
 辭 *oog* 耳 辭モ亦タ然リトス。乃チ其 *oog* 辭ノ *ten oogen*
faman 來ル 耳ニ 來ル ノ成語ニテ。女性顯著ナリトス。且夫ノ
ooglog 辭ハ。三性共ニ通見スルナリ。然レ凡男性
 最普通ノ者トス
 ○實辭ノ數 ゲタルレン
 實辭ナル者ハ人物ヲ通稱スルト。其同類ノ衆ヲ
 目スルトノ度ニ應シテ。兩數ニ發見ス。乃チ其通

稱セル者ヲ。單數ト名ケ同類ノ衆ヲ目セル者ヲ。複數ト名ク

複數ナル者ハ單數ノ後ニ^ル字。若クハ^シ字ヲ加尾スルト^ハ字ヲ加

第一單數ニ在テ緩音^エ字ニ尾レル辭ノ複數ニ

於ルハ。常ニ^ク一字ヲ其後ニ領ス ^{諸終リ} *enden, hegetens,*

^{諸約束} *keleten, gepachten,* 等ノ ^{終リ} *ende, hegete,* 云云ニ於ルカ

如シ。是辭ニ在テハ動輒^レハ *enden, hegetens,* ノ

如ク^シ字ノ後ニ^ル字ヲ加フル人アリ。然レ^ハ此

此用法ハ。複數兩標ノ無益配合ヲ為セルトメ。

之ヲ避クベシトス

第二配韻字ニ尾レル辭ノ複數ニ於ルハ。多ク^シ

字ヲ其後ニ有ツ ^{諸書} *boeken, menschen, troonen, procken,*

^{果實等} *vruchten,* 等ニ^メ即チ ^書 *boek,* ^人 *mensch,* ^椅 *troon,* ^婦 *procken, vult,*

^{果實} *vat,* ノ複數ナリ

第三實辭中。唯^ル字ノ加尾ノ^ミニテ複數ヲ形成

セル者アリ。是レ殊ニ單數ニ在テ^ルニ尾レル

辭。若クハ細小辭ニ於テ然リトス ^{諸滿足} *genoevens, verken,*

^{諸好} *gens,* ^{諸雄等} *manneljes, vyffers,* ^{諸雌等} *kindkens,*

第四實辭亦タ其複數ヲ二様ニ形成スル者アリ。

男等 mans, ト 男等 mannen, トノ 男 man, ニ於ル 息男等 soons, ト 息男等 soons, ト
 息男 soons, ニ於ル 兄弟等 broeders, ト 兄弟等 broeders, ト 兄弟等 broeders, ニ於ル
 父等 vaders, ト 父等 vaders, トノ 父 vader, ニ於ル 林檎等 appels, ト 林檎等 appels,
 トノ 林檎 appel, ニ於ル 造物等 schepzels, ト 造物等 schepzelen, トノ 造物 schepzel,
 ニ於ル等ノ如シ

第五 茲ニ實辭アリ。其複數ニ在テハ之レカ定則

ノ尾字ニ添テ。又タ若クハ 若クハ 尾字ヲ領ス
 ル者アリ。或ハ亦タ唯 若クハ 尾字ヲ領スル者
 アリ 諸葉 volken, ト 諸葉 volken, トノ 諸葉 volk, ニ於ル 諸葉 vaden, 諸葉 vaders,
 若クハ 諸葉 vaders, トノ 諸葉 vad, ニ於ル 諸骨 soonen, ト 諸骨 vinders,

若クハ 諸骨 vinders, トノ 諸骨 vinder, ニ於ル 諸骨 vinders, 若クハ
 諸骨 vinders, ノ 諸骨 vinder, ニ於ル 諸骨 vinders, 若クハ 諸骨 vinders, ノ
 諸骨 vinder, ニ於ル等ノゴトシ。然レ凡是ノ如キ辭ニ
 在テ。其 尾 二 尾レル複數ハ。整然トメ方
 今用ル單數辭ヨリ来ラスメ。ニ尾レル古昔
 ノ單數辭ヨリ来レル者ナリト識得スベシ。故
 ニ vaders, vaders, vinders, vinders, vaders, vaders,
 vinders, vinders, 實ニ方今用ヒサル單數 vaders,
 vinders, vaders vinders, 等ニ屬スルナリ
 數个ノ實辭ハ唯單數ノミニ用ル者アリ。他ハ亦

四二

門 アリヤレ 画像 Mistons' posten 息女 妹 并ニ合併辭 街 stads poort 街
 自餘ノ變勾ニ於テハ常ニ實辭前ニ在ル性辭
 及ヒ テシ ニ於テ察スベシ。故ニ此兩者ハ變勾ス
 ル態ニ於テ實辭ニ缺タル殘餘ノ變ヲ給足シテ
 而メ行文中ニ於テ實辭ノ當ニ見ルベキ所ノ格
 ヲ示スナリ。今其變ト實辭ノ變トヲ相合メ之ヲ
 熟察シ和蘭文語ニ四个ノ格ヲ區別スルヲ得
 テ而メ之ニ第一格第二格第三格第四格ノ名ヲ
 命スルヲ得タリ。通常ハ蓋シ羅甸人ニ擬シテ

六个ノ格ヲ分チ其式ニ從テ之ヲノミナチヒユス
 チヒユス「ダチヒユス」アキユサチヒユス「ホカチヒユス」アブラチヒユス「ト名
 ケタリ。但シ羅甸人ハ其實辭ノ實ニ六个ノ變勾
 ヲ察セシムルカ故ニ此區別ニ於テ理不可ナル
 ナシ。然レモ和蘭人ハ夫ノ變勾ヲ以テ其終末
 ノ兩格 「ホカチヒユス」「アブラチヒユス」ヲ示スニ由ナシ。何者其對話ニ
 用ユル「ホカチヒユス」ハ和蘭ニ在テ常ニ「ノミナチヒユス」格第一ト
 同一ニメ彼ノ「アブラチヒユス」ハ和蘭文語ニ於テ常ニ
 冒辭ノ助ケヲ以テ之ヲ見ハスカ故ナリ。是ヲ以
 テ今其區別ト共ニ其名目モ亦之ヲ弃擲セリ。

四二

是合當ノ事故ニ在テハ。又夕更ニ些子ノ論ヲ要スル一無シ

第二格及ヒ第三格モ亦夕。和蘭ニ在テハ冒辭ノ助ケヲ以テ之ヲ幹旋ス。故ニ *ens konings* 王 若クハ *des konings* 王 *seiner haak* 事 若クハ *der haak* 事 若クハ *des konings* 王 *des konings* 王 ト云代リニ *van een koning* 王 若クハ *van den koning* 王 *van zome haak* 事 若クハ *van de haak* 事 *van een woord* 辭 若クハ *van het woord* 辭 ト云ナリ。又夕冒辭 *aan* 以テ同様ノ幹旋ヲ第三格ニ用ユ。此幹旋ノ女性辭間性辭ニ於ルハ。第二

四三

格ニ於ルヨリ尚通常トス。乃チ *aan een koning* 王 *aan den koning* 王 *aan een land* 國 *aan het land* 國 ノ例ニ於テ其他ヲ知ルベシ。然レ凡其王ニト云ル態ニ於テ *een koning* 王 *den koning* 王 *ning* 王 ト云ヒ。其女ニト云ル態ニ於テハ抽タル文ニ在テ *seiner vrouwe* 女 *der vrouwe* 女 ト云ヒ。高上セル文ニ於テ全ク非常ナラスト雖凡少レニ *een land* 國 *den lande* 國 ノ用法モ亦夕コレアルナリ

格ノ用法亦夕簡約ノ辨論ヲ要ス。凡ソ人獸事物

四四

譯口蘭文語 卷中

四五

ノ他ニ係累セルヲナク獨立シテ文主トナリ句
 頭ニ見ル、^イキハ之ヲ第一格トス。是文主ニハ他
 動ノ^レ作業受動ノ困窘自動ノ^レ状態存在^ニ成生等ノ
 事ヲ^レ記スヘキナリ。喻ハ^レde vader spracکت,^父
^犬werdt geslagen,^打 het kind slaapt,^眠 de lelie is wit,^白
^百de boom werdt groot,^樹^合等ノ如シ。又夕和蘭ニ
^{白ノアル}de boom werdt groot,^{大ノ}等ノ如シ。又夕和蘭ニ
 於テハ此格ヲ以テ之ヲ對話ニ用ユ^信 geloof my。^{吾ヲ}
^王koning,^{吾ヲ} geloof my,^就 kinderen,^{兒等}
 ノ如シ

其關係ノ状衆多ナルカ故ニ。此格ノ用法亦タ甚
 タ差異アリトス。乃チ此格ノ^イDavid's psalmen,^ノ
^イde heer der huyzen,^ノ de koning's goederen,^ノ
 カ如キハ、持主ヲ示シ^ヨ Job's plagen,^ノ ^イRichard's vijen,^ノ
 ニ於ルカ如キハ、困窘ヲ示シ^水gene teug waters,^ノ
 ノ屬セル種類若クハ全數ヲ示スナリ。他ノ關係
 ノ衆多ヲ舉ルハ煩冗ニ過ルヲ以テ茲ニ之ヲ略
 スルナリ

譯口讀文語

世

四六

第三格ハ作業ノ標的ヲ示スノ用トナル。故ニ此格ニハ其状態利益損害等ノ如何ヲ問ハス。事物ヲ與奪セラル、所ノ人物ヲ安置スルナリ。即チ

吾ハ與フ ik geef u dit boek	吾ニ此書ヲ與フ ik geef u dit boek	吾ハ汝ニ此書ヲ與フ ik geef u dit boek	先生ガ童子ニ彼レノ讀物ヲソラ聞スル de meester openbaart den kind
為セ doe my het ginogen	吾ニ満足ヲ為セ doe my het ginogen	先生ガ de meester	散歩ガ de wandel ling heeft hem
童子 deven	彼レノ讀物ヲ deven	先生ガ de meester	散歩ガ de wandel ling heeft hem
ヨキト goed gedaan	為レ goed gedaan	此 die wondt	起ス heer voor raakt my veel
痛 pijn	此疵ガ吾ニ多ク起ス pijn	此疵ガ die wondt	起ス heer voor raakt my veel
力為ニ此格ヲ用ルナリ	力為ニ此格ヲ用ルナリ	兩人ノ書生ガ互ニ進歩ニ於テ同シクアル de beide leerlingen zijn eender	兩人ノ書生ガ互ニ進歩ニ於テ同シクアル de beide leerlingen zijn eender

四七

第四格ナル者ハ活辭ヲ以テ示シタル作業ノ直ニ及達セル事物ヲ示スノ用トナル。即チ

打ツ slaat tegen hand	男ガ打ツ slaat tegen hand	先生 de meester	教ユル de beide kintje haer voor raakt
先生ガ書生ヲ教ユル slaat tegen hand	男ガ打ツ slaat tegen hand	先生 de meester	教ユル de beide kintje haer voor raakt
其他和蘭文語ニ在テハ通常冒辭ノ後ニ第四格ヲ領スルナリ	其他和蘭文語ニ在テハ通常冒辭ノ後ニ第四格ヲ領スルナリ	乙○性辭 リッドウオールデン一名 ゲストラフトウオールデン	乙○性辭 リッドウオールデン一名 ゲストラフトウオールデン

性辭ナル者ハ實辭ノ前ニ位シテ、而メ實辭ヲ以テ示シタル事物ノ定極アルト、定極ナキトヲ察セシムルノ用アリ。故ニ此辭ハ極定スル者ト、極

言永廣又言 卷中

四九

定セザル者トノ兩種アリ。其極定スル者ハ、男性ト女性トニ於テハ、^{トシ}ヲ以テ見ハレ。間性ニ於テハ、^{トシ}ヲ以テ見ハル。其極定セザル者ハ、男性間性ニハ、^{トシ}トシ、女性ニハ、^{トス}トス。此性辭ハ蓋シ人意ノ考按ニ多少ノ疎密ヲ與フルノ用大ナリトス。故ニ吾レ若シ喻ハ、^{ト云}ト云。吾レ乃チ餅ト名クル普通ノ食劑ヲ願望セルナリ。亦タ^{ト云}ト云ル言ヲ以テセルハ、其大小品類ヲ審定セスメ、^{ト云}ト云飯ノ名アル食劑ノ各異量ノ一者ニ就テ之ヲ望

蒸

五〇

メルナリ。吾レ若シ^{ト云}ト云ルハ、則チ其食劑ノ品類大小ニ於テ、已ニ一定顯著ナル量ニ就テ、之ヲ願望セルナリ。性辭ノ實辭前ニ位シテ其性ヲ示シ、亦タ稍其變勾ノ不足ヲ給スノ用アルハ、前ニ既ニ論セルカ如シ。今其説ヲ明ニセント欲スルニハ、性辭變勾ノ三性ニ於ル者ヲ例示センコトヲ要ス。因テ亦タ此例ニ在テハ、性辭ヲシテ毎ニ實辭ト配合セシムルナリ。是ニ由テ之ヲ察セハ、夫ノ格ニ就テ論シタル者、亦タ稍其明處ヲ得ルコトアラレ

譯口廣又言

五二

三性ノ單複數ニ於テ實辭ヲ配セル性辭

單數 男性

女性

間性

第一格 *de man* 男カ

de vrouw 女カ

het kind 児カ

第二格

des mans 男ノ
van den man 男

der vrouw 女ノ
van de vrouw 女

des kinds 児ノ
van het kind 児

第三格

den man 男ニ
aan den man 男ニ

de vrouw 女ニ
aan de vrouw 女ニ

het kind 児ニ
aan het kind 児ニ

第四格

den man 男ヲ

de vrouw 女ヲ

het kind 児ヲ

複數 男性

女性

間性

第一格

de mannen 男等カ

de vrouwen 女等カ

de kinderen 児等カ

第二格

der mannen 男等ノ
van de mannen 男等

der vrouwen 女等ノ
van de vrouwen 女等

der kinderen 児等ノ
van de kinderen 児等

第三格

den mannen 男等ニ
aan de mannen 男等ニ

den vrouwen 女等ニ
aan de vrouwen 女等ニ

den kinderen 児等ニ
aan de kinderen 児等ニ

第四格

de mannen 男等ヲ

de vrouwen 女等ヲ

de kinderen 児等ヲ

五二

例

男性

女性

間性

第一格

van vader 父カ

eene zaak 事カ

een geslacht 性カ

第二格

van's vader's, 父ノ
{ eenen vader, 父ノ }
{ van een vader, 父ノ }
{ eenen vader, 父ノ }
{ van een vader, 父ノ }
{ eenen vader, 父ノ }
{ van een vader, 父ノ }
{ eenen vader, 父ノ }
{ van een vader, 父ノ }
{ eenen vader, 父ノ }
{ van een vader, 父ノ }

第三格

aan een vader, 父ニ
{ eenen vader, 父ニ }
{ aan een vader, 父ニ }
{ eenen vader, 父ニ }
{ aan een vader, 父ニ }
{ eenen vader, 父ニ }
{ aan een vader, 父ニ }
{ eenen vader, 父ニ }
{ aan een vader, 父ニ }
{ eenen vader, 父ニ }
{ aan een vader, 父ニ }

第四格

eenen vader, 父ヲ
{ een vader, 父ヲ }
{ een vader, 父ヲ }
{ een vader, 父ヲ }
{ een vader, 父ヲ }
{ een vader, 父ヲ }
{ een vader, 父ヲ }
{ een vader, 父ヲ }
{ een vader, 父ヲ }
{ een vader, 父ヲ }
{ een vader, 父ヲ }

第一格 第二格 第三格 第四格
キハ即チ我ガノニハト云ルモ亦タ恐クハ實辭ノ
而此テニ者ナラト云然レモ其「ア」ト云ル者ハ
格ヲ分テテ者ナラト云然レモ其「ア」ト云ル者ハ
花ヲ見テ詩ヲ作ル者一如ク見ルト云ハ實辭ノ
辭作用ヲ接續スル者一如ク見ルト云ハ實辭ノ
非ス若シ故ニ和蘭ノ區別ト同一ハ即チ俗言ノ
カナルカ故ニ和蘭ノ區別ト同一ハ即チ俗言ノ
ト異ナレルノミ我然ヲ邦雅言ニハ第一格ハ雅

五三

言ニハ「ノ」ト云ル第二格ナリ故ニ雅言ニ若ガ
夕メ「松ガ」枝「富士カ」根ト云ハ「君ノ」雅言ニ
「富士」ノ根ト云ハ「富士」ノ根ト云ハ「君ノ」雅言ニ
ニ「日」ガ出ル「雨」ガ降ル「花」ガ下ト云ル第一格
藩ノ俗言ハ「日」ノ出ル「雨」ノ降ル「花」ノ下ト云ル
レ雅言ハ「日」ノ出ル「雨」ノ降ル「花」ノ下ト云ル
シクモ「ア」ガ「ナ」ト云ル「俗言」ニ「ア」ガ「ナ」ト云ル
ノイノ「ア」ガ「ナ」ト云ル「俗言」ニ「ア」ガ「ナ」ト云ル
ト云ハ「俗言」ノ第一格ニハ「ア」ガ「ナ」ト云ル
ナシ故ニ「余」ガ「譯」文中ニハ「ア」ガ「ナ」ト云ル
者ヲ「第二格」ト云ル者アリ「草卒」ニ「讀」去
テ「第二格」ト云ル者アリ「草卒」ニ「讀」去
丙○陪辭 ベイフヘレイケ。ナームウオルデン
陪辭ナル者ハ實辭ヲ以テ示シタル人獸事物ノ
形狀性質ヲ見ハセル *schon, helder, sigelgh,* 等ノ如
キ者ニメ之ヲ形容センガ為ニ實辭側ニ加ハル

五四

者是ナリ。喻ハ *eene schoone bloem* 美シキ花 *een helder water* 清キ水
 水 清キ *eene liepelyke stem* 愛ラシキ聲 等ノ如シ
 大キ *groot*, 小キ *kleine*, 狭キ *smal*, 美キ *schoon*, 廣キ *breed*, 良キ *goed*, 悪キ *leerzaam*, 等ノ如キ陪辭
 ハ本来ノ者トシ *oorlyk*, *heilzaam*, *goedlaadig*, *baarmhartig*,
性質ノ和カナル *rechtvaardig*, 等ノゴトキハ轉来且ツ合并ノ者ト
 ス

五五

判辭ノ其原ヲ活辭ニ資レル者亦夕轉来陪辭ニ
 屬ス。即チ活辭 *beninnen* 愛スル, ヨリ *beninnende* 愛スル所ノ *beninnende* 愛セラル トナリ
 活辭 *leeren* 學ブ, ヨリ *leerende* 學ブ所ノ *geleerd* 學ニテ トナリ活辭 *zingen* 誦フ, ヨ
 リ *zingende* 誦フ所ノ, *gezingen* 誦ル トナル等ノ如シ。此等亦夕他ノ

五六

陪辭ト同シク實辭側ニ加ハルナリ。喻ハ *de zinn*
愛スル所ノ *innende moeder* 母 *de zinnende dochter* 愛セラル *het haren* 學所ノ
童子 *de kind* 學ブ所 *de geleerde man* 男 *de zingende vogel* 鳥
童子 *het gezingene lied* 歌節 ノ如キ是ナリ
 轉来陪辭合并陪辭ノ尤ナル尾字ハ *baar*, *ig*, *lyk*, *loos*,
ナーム *zaam*, *achtig*, *haptig* ナリ。此尾字ノ義亦夕簡易ノ辯論
 ヲ要ス
 第一 *dragen*, *voortbrengen*, ノ義アル活辭 *baren*, ヨリ轉
 セル尾字 *baar* ノ實辭ニ加ハレハ活動スル義
 ヲ含ム *dankebaar*, *vruchtbaar*, *duyckbaar*, ノ如シ。然レ

凡活辭ノ活體分ノ後ニ加ハルハ。受動ノ義ヲ含ムナリ。即チ *set baan*, *ken baan*, *les baan*, 等ニ入。是レ *dic of dat geyken*, *gehand*, *gelezen* *kan worden* 也ト云ヘキ義ナリ

第二尾字ハ事物ノ性質ヲ示シ。或ハ事物ニ傾及アルヲ示ス。即チ *haastig*, *leidendig*, *willig*, *lydig*, *hoopdelig*, *handig*, 等ニ於テ顯著ナルガ如シ

第三 *lyken*, *gekyken*, 辭ヨリ轉セル尾字ハ實辭陪辭ノ後ニ加ハリ。亦タ活辭ノ後ニ加ハル。其陪實兩辭ノ後ニ加ハル者ハ。事物ノ性質形相ヲ

示ス。即チ *godelyk*, *koninkelyk*, *oulyk*, *nichelyk*, *kinnyklyk*, ノ如シ。其活辭ノ後ニ加ハル者ハ。適當セルヲ示シ。若クハ事ヲ為シ物ヲ窘ムヘキ形勢ヲ示ス *schagelyk*, *betamelyk*, *schriegelyk*, *storfelyk*, *verlei*, *delyk*, *verachtelyk*, 等ノ如シ

第四尾字 *loos* ハ方今 *verlozen* ニテ殘レル古昔ノ *lieten* 辭ノ帶既往ヨリ轉シタル者ニメ。失之缺損ヲ示スナリ。而メ或ハ *loosloos*, *magtelos*, *moedelos*, *muchtelos*, ノ如ク實辭ノ後ニ加ハリ。或ハ *loos*, *veddelos*, 等ノ如ク。活辭ノ活體分ノ後ニ加

ハルナリ

第五 尾字 *naam*、ノ實辭後ニ在ル片ハ、同等ナル

ヲ示シ若クハ事物ニ傾及アルヲ示ス *deigo*

naam, heilnaam, minnaam、等ノ如シ。活辭ノ活體分ニ

加ハル片ハ、適當ヒルヲ示シ。若クハ事物ニ

達スル勢ヲ示ス *groetnaam, leernaam, geboortnaam*、

各音ナル *oornaam*、等ノ如シ

第六 尾字 *achtig*、ハ音調ノ勢ヲ受ルト受サルトニ

由テ兩様ノ義アリ。其之ニ音勢ヲ受ル片ハ、猶

持ノ所 *heilsende*、ト云ルカ如キ義ヲ含ム *beilachtig, slaachtig*、

真フル *waachtig*、ノ如シ。音勢其合并分ノ前部ニ墮テ、

之ニ受ケサル片ハ、此尾字乃チ同一様ナル

ヲ示ス *waachtig, logenaachtig, waerachtig*、等ノ如シ

第七 尾字 *achtig*、ハ *hebben*、ノ義ナル古昔ノ *heben*、ヨリ

轉ヒル者ニメ、事物ノ實ニ然ルヲ示シ、亦タ

局度ナクメ事物ノ性質ヲ示ス。即チ *ernstachtig*、

男ラシキ *manachtig*、勇士ラシキ *heldachtig*、等數多ノ辭ニ見ルカ如シ

尾字 *ste*、若クハ *de*、ノ加尾ニ由テ根數ヨリ轉シタ

ル陪辭アリ。即チ *maakte*、*kende*、*rijde*、*konde*、*ste*、*ste*、

第十 *ende*、等ナリ。但シ亦タ *ste*、ノ尾ヲ見ハセル *erste*

五

五

辭ハ先キヨリ先キ 辭ノ最上級トス

陪辭亦夕時ニ實辭ノ位ヲ冒ス一アリ。即チ *de afzichte*

de geleerde, de wijsne, de orjeste 此原来最上級ナリ 等ノ如シ故

ニ亦夕 *het goede schoon, goed of fchaal is* ト云代リニ *het schoone*

het goede, het fprake, 或ハ ein goed, een fprake, 等ト云

又夕 *de voortreffelijkheid dien veruyting,* 此功能ノ抽デタル一 *de aandoen,*

Eytheid van dat verhaal, 此話ノ感 若クハ *het goede die veruyting,* 此功能ノ抽スベ

ting, dat verhaal voortreffeliks, aandoenlyks heept, 此話ノ感 抽スベ

功能ヲ持ツ所ノケ様ナルモノノ感スヘキノ此話ヲ持ツ所ノケ様ナルモノト云一キ者ヲ *het voortreffelyk*

ke dien veruyting, 此功能ノ抽デタル一 *het aandoenlyke van dat ver,* 此話ノ感

六

五九

haal 此話ノ感スベキ一 ト云一ヲ得ルナリ

○陪辭ノ性ト數ト變勾ト

實辭前ニ位セル陪辭ハ性モ數モ格モ實辭ニ從

フ。故ニ是等ノ事ニ於テハ全ク實辭ト一般ナリ。

今此事ヲ明ニセンガ為ニ茲ニ將ニ例ヲ敘シテ。

而メ實辭ト實辭ノ性辭トヲ配セル陪辭ノ變勾

ニ罹レル者如何ト云一ヲ示サントス

六〇

男性ニ於ル例

第一格 *de sterke leeuw, van sterke leeuw,* 獅子 獅子 強キ 強キ 獅子 獅子 強キ 強キ

第二格 *des sterken leeuws, van sterken leeuws,* 獅子 獅子 強キ 強キ 獅子 獅子 強キ 強キ

單數		複數	
第一格	het moedige paard, een moedig paard. 馬 勇アル	第一格	de moedige paarden. 馬等 勇アル
第二格	des moedigen paards, eens moedigen paards. 馬 勇アル	第二格	der moedige paarden, van de moedige paarden. 馬等 勇アル
第三格	van het moedige paard, van een moedig paard. 馬 勇アル	第三格	den moedigen paarden, aan de moedige paarden. 馬等 勇アル
第四格	het moedige paard, een moedig paard. 馬 勇アル	第四格	de moedige paarden. 馬等 勇アル

六三

皇邦形容辭ノ實辭ニ從テ變スルハ和蘭陪	辭ノ比ニ非ス即チ水色ニハ「ミ」ト云ク	水底ニハ「ク」ト云ク	黒暗ニハ「ク」ト云ク	スル陪辭ノ實辭ニ從テ變スルハ和蘭陪	和蘭陪辭ノ實辭ニ從テ變スルハ和蘭陪	ト見ルハ或	ハ可ナラシカ
此例ニ於テハ陪辭ノ單數後ニ尚「字」ヲ加ルノ	目的ヲ論次スル一緊要ノ事ナリトス乃チ女性	ノ陪辭ハ少レニ口勢ニテ之ヲ禁スルノ態ヲ除	ケハ常ニ「字」ヲ領ス然レモ男性ノ陪辭ニ在テモ	其前ニ極定性辭或ハ亦「 <i>de, de, myn,</i> 」等ノ如キ	代辭来リ又夕或ハ男性實辭單一ノ陪辭ヲ其前		

二領スル片ハ之ニエ字ノ加尾適當ス即ハチ也
 大ナル 若モノ 其 大ナル 若モノ 大ナル 若モノ 吾ノ 大ナル
groote jongen, die groote jongen, de groote jongen, mijn groote
 若モノ 大ナル若モノ此大ナル 良キ 友 良キ 論 好
jongen, groote jongen, die groote jongen, de groote jongen, mijn groote
 好シ 益アル 兄弟 益アル 兄弟 ノ如シ然レ此 不定性辭
and goede vrienden, goede vrienden, mijn goede vrienden
 ノ實辭前ニ来ル片ハエ字ノ去加ニ就テ和蘭文
 語ニ撰定セル區別アリ。今文語ノ性ニ本ヒテ稍
 将ニ詳説スルヲアラントス

益

性辭 エヲ配セル男性實辭前ニ在ル陪辭ハ大凡
 エ字ヲ領スルナリ エ *een kwade ardeid,* 難キ *een oude*
家 僕 *diens knecht,* 老タル 家 僕 *een makeljaame hond,* 守シテ *een*
家 僕 *naarstege* 出精スル

少年 出精スル ノ如シ。然レ此則ニ在テ一个ノ人ヲ
jongen, 少年 出精スル 少年 出精スル 少年 出精スル 少年 出精スル
 以テ。作業命令官職等ノ諸事ニ觀ル實辭ノ實ニ
 作業官職等有テ然ル人ニ觀ス。其之ニ係累アル
 人ニ觀テ之レガ状態ヲ見ハサンカ為ニ。性辭
 ヲ配セル陪辭。或ハ亦タ *veel, eenig, menig,* 辭ヲ配セ
 ル陪辭ヲ其前ニ領スル片ハ。則チ變則ニ罹レル
 者アリ。故ニ *een goet koning,* 善キ 王 善 ト云ル者ハ王トシテ
 善ナル人ヲ徵シ *een groot schilder,* 大ナル 画 大画 ト云ル者ハ画
 エトシテ大ナル人ヲ徵シ *een sterk kopet,* 強キ 脚子 強キ急 ト云
 ル者ハ健足スル人ヲ徵シ *een grootmoedig vriend,* 寛大ナル 友 寛大ニ

ト云ル者ハ朋友トシテハ寛大ナル人ヲ徴シ *een*
忠實ナル 家来 *getrouwt dienaar* 忠實ナル 家来 ト云ル者ハ臣トシテ忠實ナ
 ル人ヲ徴スル等ノ如シ。獨リ官人業人令人臣僕
 ヲ示ス辭ノミ此則ニ屬セルノミナラス 男 *man* 辭
人 *mensch* 辭モ亦夕之レニ屬ス 徳アル 男 *een deugdzaam man*
好キ 人 *een groot mensch* ノ如シ亦夕 *king* ニ尾レル辭ハ
 皆差別ナク此則ニ屬スルナリ 出精スル 少年 *een naarstig jongeling*
出精スル 少年 *een bejafelig vee melking* ノ如シ。然レモ陪辭
 若シ其人ノ關ル所ノ作業官職等ニ就テ示サス。
 其狀態ノ實ニ然ルヲ示ス片ハ。則チ其陪辭ハ上

六五

ニ舉タル數个ノ辭ト結合セルモ、字ヲ其後ニ
 領スルナリ。乃チ *een goede koning* 善キ 王 ト云ル者ハ是レ
 善資質アル所ノ王ナリ *een sterke looper* 強キ 急脚子 強キ急脚子 ト云ル
 者ハ是レ體ノ強キ急脚子ナリ *een grote schilder* 大ナル 画工
大画 ト云ル者ハ是レ形躬ノ大ナル画工ナリ。他ハ
 類推スベシ
 間性ニ在テハ陪辭ノ性辭 エーレン ヲ前ニ配セル者。
 或ハ性辭ヲ配セスメ間性實辭ノ側ニ來レル者
 ハ。定然トメ、字ヲ脱去スルヲ識得スベシ。即
大ナル 屋 *een groot gebouw* 大ナル 屋 *een groot gebouw*
青キ 羅紗 *een groen laken* 青キ 羅紗 等ノ如シ。然

メ夫ノ極定性辭或ハ指示代辭陪辭ノ前ニ配セ
 ル者ハ *het liepste kind* 愛ラレキ見 *dit liepste kind* 愛ラレキ見 *dat liepste kind* 此愛ラレキ見
het sterke paard 強キ馬 *dit sterke paard* 強キ馬 *dat sterke paard* 強キ馬 等
 ニ於ルカ如クハ字ヲ要スレバ *eenig* 一ニノ *keken* 或ル *menig* 多シノ 或
 ハ亦タ *myjn* 吾ノ *uwe* 汝ノ *zijn* 彼ノ *ons* 我等ノ *haar* 彼等ノ *hun* 彼等ノ 如キ主物代辭之
 ニ先ツキハ則チ同ク脱去ノ則ニ罹ルナリ *eenig* 一ニノ
menscheleijk ding 望マレキ物 *keken* 見ゴトナル *myjn* 吾ノ *uwe* 汝ノ
het kind 愛ラレキ見 等ノ如シ
 文語ノ則ニ在テハ *エ* 字ヲ要スヘキ者時ニ口勢
 ニ由テ之レカ加尾ヲ禁スルヲアルヲ識得スヘ

六

シ是ヲ以テ *eene mynanderde taak* 難義ナル課業 ト云ヘシト雖
 モ然レバ *eene moeydelijere taak* 困難ナル課業 ト云ヘキニ非ス
 此ハ字ハ是レ口勢ノ為ニ脱去スヘキモノナレ
 ハナリ故ニ亦タ *de heel vortrugghelijker daan* 多ク捷 *eene her* 多ク捷
de fener 勝タル *de fener* 定ノ *het onbehouwen gedrag* 考エナキ身持チ ト云フ
 亦夕時ニ其宜キニ從テ或ハ *字ヲ脱シ* 或ハ之
 ヲ加フルヲアリ *de nageleten gedigten* 残リタル詩文 *de nageleten* 残リタル歌
gedigten 詩文 ノ如シ
 茲ニ數个ノ陪辭アリ是レ其性質ニ由リテ變幻
 ヲ察スベカラサル所ノ者ナリ一ハ *lei hande* 手 ニ

六

尾^{種々ノ}レ^性者是ナリ *allerlei menschen*, ^{種々ノ} *schuiften van*

allerhande aard, ^{種々ノ} ^性 ^ノ ^{記録} 等ノ如シ。一ハ物ノ質ヲ示ス

者是ナリ。是辭ハ其資質ヲ示スノ故ヲ以テ。資質

陪辭ト名ルナリ。即チ *tinnen schotels*, ^{錫ノ} ^鉢 *zilveren kannen*, ^{銀ノ} ^壺

^{銀ノ} *herten voorhen*, ^{木ノ} ^{ホルク} *marmeren tafel*, ^{石ノ} ^札 *gollen klederen*,

^{毛ノ} ^{衣服} *linnen rokken*, ^{木綿ノ} ^{上ノ} ^著 等ノ如シ。一ハ都府市街ノ名

ヨリ採用シテ *en* ニ尾レ^ル者是ナリ *amsterdammer*

Schippers, ^{舟人} ^{アムステル} ^{ダムノ} ^{舟人} *haringen kooplieden*, ^{バルリシ} ^{商人} *staatkirker*

^{鼻烟草} *snuty*, ^{ストラールビユル} ^{グノ} ^{鼻烟草} 等ノ如シ

陪辭若シ實辭ノ地位ヲ冒セル片ハ之レト同シ

六

キ變句^{變句}ニ^ニ 罹ルト云^フヲ識得スベシ。故ニ

de magtigen en groeten dezer aarde, ^{此土地ノ} ^{通カアル} ^{人及ヒ賢ナル人} ト云ヘ^ル。

de magtige en groete, ^{賢ナル} ^{ト云フ}ヲ得ズ。故ニ亦タ *temme*,

gen zijn van dit anderen van een tegengesteld geslacht, ^{或人ハ此} ^{説ノモノ}

テハ一定シテ論スル^フヲ得ス故ニ今 *de Rome* ^ガ ^{徳者}

ト云辭ヲ變句シテ其例ト為シテ之ヲ許可ス *de*

viomen, ^{徳者} 若クハ *van den viomen den viomen*, ^{徳者} 若クハ *aan*

den viomen den viomen, ^{徳者}

○比較級 タラフペンバンブルグレイキング

七一

陪辭ハ大級ト最大級トニ於テ猶他辭ノ如ク變
 勾ヲ察スベシトス而メ其變勾セル態ニテハ同
 則ニ係ルナリ唯大級ニ在テ殊ニ長辭ニ口勢ヲ
 善クセン為メニ變勾ヲ除ク^一他ヨリモ多シト
 ス即チ *met's maakt een verhefener indruk op de ziel* ^{無ハ。又 ナサ}
^{勝レタ感} ^{吾ハタ 絶テ。ナン} ^{ヨリ堪ユカラザル} ^{感ヲニ} ^{無キ者}
^{ニナサヌ} *ik heb nimmer een onvragelyker hoogmoed aangebragten.*
^{吾ハ堪ユベカラザル傲} ^{慢ニ絶テ出合ナンタ} ^{ノ如シ}

七二

判辭モ亦タ比較ノ級ヲ示スガ為ニ尾字^ニ及ビ
^{ステ} ^ヲ ^領 ^{スル} ^{ナリ}。即チ *dringend* ^{押合タル} ^ヲ *dringender* ^{最モ押合タル}
 ト云ヒ *velsprekender* ^{ヨク話スル} ^ヲ *velsprekender* ^{ヨリヨク話スル} ^{最モヨク話スル} ^ト ^ニ ^ヒ

七三

判辭ノ大級ニ在テハ口勢ニ由テ變勾ヲ禁スル
 一他辭ヨリ多シトス
 衆判辭モ亦タ其辭義ニ於テハ比較アル^一ヲ察
 スベシ然レ^レ前條ニ説示セル尾字ヲ領スル^一
 ナキ者アリ是ヲ以テ其用法 *femininer* ^{愛スル所ノ} ^ヲ *femininer* ^{ヨリ愛スル所ノ}
^{最モ愛スル所ノ} *der* ^{愛セラル} ^ヲ *femininer* ^{ヨリ愛セラル} ^{最モ愛セラル}
 ト畫成スル^一ヲ欲セス此他衆者ニ於テモ亦タ
 然リトス故ニ是ノ如キ態ニ於テハ *moet* ^{ヨク用ク} ^ヲ ^用 ^ヒ

釋口蘭文語

七四

テ大級ヲ示シ最多クヲ用ヒテ最大級ヲ示スナリ
 是幹旋meertヲ其慣用ニ由テ數回説示シタル尾
 字オノヲ脱セサル辭ニ於テモ亦タ時ニ用エル
 一アリ
 合并陪辭ニ在テハ唯其合并ノ末節後ニノミ此
 較ノ尾字ヲ領スルナリ。即チ惠ニアル ヨリ惠ニアル 最モ
惠ニアル 寛大ナル ヨリ寛大ナル 最モ寛大ナル
duigst, grootmoedig, grootmoediger, grootmoedigst トスル
 カ如シ。故ニ或人ノ思念セルカ如ク 直ヤナル ヨリ
直ヤナル 最直ヤナル ヨリ直ヤナル 最モ直ヤナル
tekoop, bestkoop ト書セスメ亦タ *goedkoop, goedkoopst,*
 ト書セン一ヲ欲ス

七五

丁○數辭 テルウオールデン
 數辭ナル者ハ事物ノ量數ヲ見ハスノ用アル者
 ニメ。或ハ定數ヲ示シ。或ハ不定數ヲ示ス。而メ其
 定不定ノ數ト一致セルヲ以テ之ヲ定數辭ト通
 數辭トニ分別ス

七六

定數辭ナル者ハ 一 二 三 十 百
een, twee, drie, tien, twintig, honderd, 等
 ノ如キ基本ノ數ヲ示ス者是ナリ。而メ 一 二
duis, vier, vijf, 等ノ如キハ根辭ノ者トシ 即チ根數
リ辭ナ 二十 三十 四十 五十 六十 七十 八十 九十
twintig, dertig, veertig, vijftig, zestig, zeventig, achtig, negentig, 等ノ如キハ尾字 トシ
 尾ヲ以テ根辭ヨリ轉セル者ニメ轉來ノ者トシ

打レ 彼ヲニテ十 人カ彼ヲ十ニテ打シ 等ノ如シ
Nederloeg te by diir handen

八〇 定數辭亦夕時ニ女性間性ニ於テ獨立セル實辭

ノ如ク見ハル。トアリ。喩ハ 吾ハ三ツ汝ハ一ツ
ik heb de drie, gij de

一ツ 彼ハ 六ツ 投ケ 吾ハ三ツ汝ハ一ツ 彼ハ六ツ投ゲタ
een kij de vier gegoid, hij heeft drie tienem

持 價メレ 價メレ 價メレ 價メレ 價メレ 價メレ
het hondert kost vier gilden, 等ノ如シ。故ニ亦夕

多キ 二十 多キ二十 ト云一アリ
een grote hundert, een kleine hundert

八一 二尾レル實辭亦夕數辭ヨリ轉セル者アリ。即

チ 六十者 是レ六十歳ノ男子又夕六十個煩ノ

舶ト云義ヲ該ヌルナリ

八二 beide 辭ハ 十カヲニツナ ト云一ヲ徵スルナリ。此辭ハ

二個ノ事物ヲ兼并シテ觀ルヘキ片ニ之ヲ用ユ。

而ノ多クハ陪辭トナリ複數ニ見ハル。ナリ。

西ノ 手ヲ 用レ 西ノ手 二 西ノ 耳 聾デアレ 西ノ耳ニ

ノ如シ。然レ凡 時ニ實辭様ニ用ル者アリ 彼等ニアル 聾デアレ

西人ナガラ 食ニ 彼等ハ西人ナ 一人モカ、オレノ 西人ナガラ 聾デアレ 西人

beiden arm, ガラ食ニアル 西人ナガラ 二人ナガラ 聾デアレ 西人

ラフ一人モカ 出キレ 以テ 西人ノ 好キ見込ラ 聾デアレ 西人ノ好キ

レヲ為サナシ 出キレ 以テ 西人ノ 好キ見込ラ 見込ラ以テ出キル 此レト ト云ル

如シ。又夕此 beide 辭ノ 此レト ト云ル

義ヲ以テ辨スベキ片ニハ少レニ單數活辭ト配

合ス。即チ 彼ハ 奏セシ 奏セシ 然レ 此モ彼モ同レク 未熟ニ 奏セ

釋和蘭文語 卷中 五十

リ殊ニ女性辭ト複數トニ於テ分明ナラサルナ
 リ。即チ *heel goeds* 多サ 善キ *Meinig goeds* 多サ 善キ
Meinig doornpoeds 幸ヒノ *heel hoopden* 多サ
Meinig lagen 日ノ僅カ 又夕 *een Meinig wijn* 僅カ 葡萄酒 等ノ如シ。然
 ノ是事 *meer minder* 多ク ツク ニ於テモ同様ナリトス。即チ *meer* 多ク
er galls 金ノ *minder Meingd* 悦ヒノ *meer menschen* 多ク 人ノ *minder kon* 多ク 謹ミ
gen 謹ミ ノ如シ。然レ *heel* 悦ヒノ 辭複數實辭ノ前ニ在
 ル片ハ屢々陪辭ノ法ニ於テ變勾ス *heel menschen* 多ク 人
 若クハ代辭来ル片モ亦夕之ト同様ナリトス *heel goeds* 多ク 什物 等ノ如シ *Meinig* 僅カ 辭ノ前ニ極定辭

Meinige moete 僅カノ 骨折 *het Meinige goed* 僅カノ 善キ *deze Meinige rede* 此 僅カノ 論義
non 此僅カノ 論義 *vele Meinige roetkong* 汝ノ 僅カノ 慎ミ 等ノ如シ
heel 辭 *Meinig* 辭ノ獨立セル片ハ猶陪辭ノ如ク實
 辭ノ微ノ *en* 字ヲ領ス *vele hebben het goeord* 多ク 人ノ 間 *Meinigen* 僅カノ 人ノ
teu harte genomen 取 多ク 人ノ 心ヲ 取 ノ如シ。亦夕 *eenige* 一ニ *sommige* 或レ
etlike 辭ノ實辭ノ側ニ在ラサル片、此ニ字ヲ
 後ニ加フルナリ。然レ *en* 之レト配合セル片ハ此
 辭ハ皆陪辭ノ變勾ニ從フナリ。又夕此諸辭ハ獨
 リ *Meinig* 辭ヲ除ケハ皆實辭ヲ配セルト否トヲ論
 セス。複數ノ第二格ニ於テハ *en* ニ 尾ルト云フ

識得スベシ 多ク人ノ好ミ *heleer begeerte* 多ク人ノ好ミ *heleer menschen begeerte* 多ク人ノ好ミ

多ク人ノ好ミ *eeniger, sommiger, ettelijker, handelwijze* 若千人ノ好ミ *handelwijze* 若千人ノ好ミ *is* 若千人ノ好ミ *is* 若千人ノ好ミ

geen ont. menschen handelwijze 云々ノ人ノ手業サ *beiden, beiden haben twee kanz,* 両父ノ親 *is* 親シキ用心

alle 皆 *is* 諸人ノ親 *alle menschen tot* 諸人ノ運 *is* 諸人ノ運 *is* 如シ

alle 皆 *is* 諸人ノ親 *alle menschen tot* 諸人ノ運 *is* 諸人ノ運 *is* 如シ

alle 皆 *is* 諸人ノ親 *alle menschen tot* 諸人ノ運 *is* 諸人ノ運 *is* 如シ

alle 皆 *is* 諸人ノ親 *alle menschen tot* 諸人ノ運 *is* 諸人ノ運 *is* 如シ

alle 皆 *is* 諸人ノ親 *alle menschen tot* 諸人ノ運 *is* 諸人ノ運 *is* 如シ

alle 皆 *is* 諸人ノ親 *alle menschen tot* 諸人ノ運 *is* 諸人ノ運 *is* 如シ

alle 皆 *is* 諸人ノ親 *alle menschen tot* 諸人ノ運 *is* 諸人ノ運 *is* 如シ

